

第七十四回帝國議會
衆議院

昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外二件
委員會會議錄(速記)第十八回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
北海道拓殖銀行法中改正法律案
(政府提出)
金貨金特別會計法中改正法律案
(政府提出)
臨時資金調整法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和十四年三月一日(水曜日)午後一時四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 板谷 順助君

理事松尾 四郎君 理事宇賀 四郎君

理事松木 弘君 理事森 幸太郎君

理事山崎 常吉君

駒井 重次君

遠山 房吉君

川崎末五郎君

松田 正一君

金澤 正雄君

宮澤 清作君

田中源三郎君

小見山七十五郎君

加藤 鏑造君

青木 作雄君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 松村 光三君

大藏省理財局長 相田 岩夫君

大藏省銀行局長 入間野武雄君

大藏書記官 松隈 秀雄君
商工省工務局長 東 榮二君
商工省鑛山局長 小金 義照君
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

金資金特別會計法中改正法律案(政府提出)

臨時資金調整法中改正法律案(政府提出)

○板谷委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、此ノ際諸君ノ御諒解ヲ得テ置キタイコトガアリマス、北海道拓殖銀行改正案ハ、先月ノ二十三日ヲ以テ質問ガ終了シタノデアリマシテ、出來ルナラバ二十四日ニ委員諸君ノ御意見ヲ纏メテ戴キタイト云フ考デアツタノデアリマスガ、新聞記事ノ問題ノ爲ニ、ツイ今日マデ延引致シタノデアリマシテ、決シテ委員會トシテハ、之ヲ疎カニ取扱ツテ居ツタノデハナイノデアリマス、隨テ既ニ質問モ終了シテ居ルコトデアリマスカラ、成ベク早く討論ニ移リタイト考ヘマスノデ、諸君ニ於カセラレマシテハ、出來ルダケ早く御意見ヲ御纏メニナランコトヲ希望致シマス、ソレカラ臨時資金調整法改正案

ハ後廻シニ致シマシテ、此ノ際金資金特別會計法ノ改正案ニ質疑ヲ集中シテ戴キタイト考ヘルノデアリマス、ソレデ宜シウゴザイマスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○板谷委員長 ソレデハ左様御願致シマス——小見山七十五郎君

○小見山委員 私ハ金資金ニ關スル極メテ簡單ナル質問ヲ大藏當局ニシタイト思フノデアリマス、申スマデモナク只今ハ正貨ノ獲得ガ必要デアリマス、隨テ金ノ増産ガ絕對ニ必要ナノデアリマス、又金以外ノ各種ノ鑛物ニ付キマシテモ、軍用資材或ハ一般生産擴充ノ資材ニ供スル爲ニ、其ノ増産ガ必要デアリマス、政府ハ有ユル方法ヲ以テ此ノ増産ニ努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、是ハ洵ニ結構ナコトデアリマスガ、ドウモ政府ノ金其ノ他ノ重要鑛物ノ増産ノ御趣旨ト相反シハシナイカト思フヤウナ事柄ガアリマスノデ、此ノ點ヲ大藏當局ニ御尋シタイノデアリマス、ソレハ先日提案サレマシテ、多分只今委員會ニ於テ審議中ト思

ヒマスガ、臨時利得稅法中改正法律案ノ中船舶ト共ニ、個人ノ持ツテ居リマス鑛業權或ハ其ノ設備ノ讓渡利得ニ對シテ、二割五分ノ利得稅ヲ課スルト云フ法律デアリマス、一口ニ申シマス、或ル鑛山ノ權利者ガ自分ノ持ツテ居ル鑛業權ヲ他ニ賣却讓渡致シマス、其ノ百分ノ二十五、假リニ百萬圓ニ鑛業權ヲ賣却スレバ、二十五萬圓ノ利得稅ヲ課スルト云フノデアリマス、元來地下ノ資源ハ國家ノ所有デアリマシテ、其ノ資源ヲ發見シ、極ク僅少ノ出願手數料其ノ他ノ費用ヲ以テ、自己ノ鑛業權ヲ獲得致シマシテ、之ヲ他ニ現金ヲ以テ賣ル、左様ナ場合ニ、此ノ一攫千金ノ鑛業權者ガ百分ノ二十五ハオロカ、場合ニ依ツテハ三割モ四割モ課稅サレテモ少シモ差支ナイト思フノデアリマス、又或ハ從來此ノ鑛業權ノ經營ニ依ツテ多額ノ利益ヲ擧ゲテ居ツタ者ガ、更ニ其ノ上之ヲ相當ノ價格デ他ニ讓渡セントスル場合ニ、是カラ二割五分稅金ヲ取ルコトモ、是モ決シテ不當デナイト思フノデアリマス、然ルニ私鑛山ノコトハ詳シク知リ

マセスガ、全國ニアリマス多クノ重要鑛山ノ其ノ發見ノ元ハ、鑛山會社ノ技師長トカ或ハ鑛山會社ノ重役、或ハ鑛山ノ學者ガ之ヲ發見スルコトハ極メテ稀デアリマシテ、多クハ貧困ナル何等資力ノナイ者ガ「ハンマー」ヲ手ニブラ下ゲテ山野ヲ跋涉シテ、重要鑛山ヲ發見シテ、鑛業權ヲ設定シテ自分ノ權利ヲ持ツテ居ルノガ多イデアリマス、左様ナ者ガ現金デソレヲ他ニ讓渡賣却致シマシタ場合ハ、ヤハリ二割五分或ハ三割、四割ノ税金ヲ取ツテモ差支ナイノデアリマス、又多クノ場合之ヲ現金デ讓渡賣却シナイデ、自ラ經營スルノ資力モナシ、結局他ノ資本アル者ト合同シテ、資本家ハ現金ヲ出資シ、鑛業權者ハ權利ヲ現物出資トシテ、評價ヲシテ出資シテ株式會社ヲ作ルト云フ例ガ多アルノデアリマス、或ハ既設ノ會社ニ現物出資シテ、其ノ會社ノ株式ヲ取得スルト云フ場合モアルノデアリマスガ、斯様ナ場合ニモ、假ニ或ル鑛山ノ權利ヲ持ツタ貧困ナル者、無資力ナ者ガ、十萬圓或ハ百萬圓ト云フヤウナ評價ヲ以テ他ノ株式ヲ取得シタ場合ニモ、ヤハリ其ノ株式ノ評價價格ノ二割五分ヲ課税サレモノデアリマスカドウカ、之ヲ御尋シタイと思フデアリマス、假ニ左様ナ場合ニモ株式ノ評價價格ノ二割五分ヲ課税サ

レルモノト致シマシタラバ、其ノ者ハ差當リ貧乏デアアルガ爲ニ、無資力デアアル爲ニ現金ヲ持ツテ居ナイノデアリマス、謂ハバ負擔能力ガナイノデアリマス、自己ノ取得シタル株式ヲ市場ニ出シテ現金ニ換ヘ得ルヤウナ株式デアレバ、是ハ又納税モ出來ルノデアリマスガ、將來ノ經營上ノ見透ノ付カナイ爲ニ、其ノ株式ガ金ニナライ場合モ亦多クアルノデアリマス、結局左様ナ場合ニ於キマシテハ、其ノ者ノ負擔ノ能力ガナイト云フコトニナルノデアリマス、負擔ノ能力ノナイ者ニ徒ニ課税スルト云フコトハ、是ハ非常ニ徵税ノ上ニ於テモ、負擔ヲ致ス人ニ於テモ、非常ニ無理ヲ生ジ、面倒ナコトガ起リハシナイカ、且又是非左様ナ場合ニモ課税スルト致シマス、立派ナ鑛業權ヲ持ツテ居ル者ハ、之ヲ現金デナシニ株式ヲ取得シテ、現物出資ヲスル、他ニ讓渡シタ場合ニハ税金ガ課カルカラ讓渡シナイ、サウスルト結局是ハ大事ナ地下資源ガ、自然死藏サレルヤウナ傾キニナリハシナイカト云フコトヲ憂ヘル者デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、大藏當局ハドウ云フ御考ノ下ニ斯様ナ立案ヲサレタモノデアリマスカ、之ヲ御伺致シタイノデアリマス、或ハソレガ延イテ今日金其ノ外重要鑛物ノ地

下ニ埋藏サレテ居ルモノヲ、ドシ／＼開發シテ行カナケレバナラス此ノ時期ニ於テ、此ノ地下資源ノ發見開發ト云フヤウナ積極的ノ考ヲ、段々消極的ニ萎靡萎縮セシメテ、増産ニ一大支障ヲ起シハシナイカ、例ヘバ滿洲ノ如キハ有望ナル鑛山ヲ發見致シマシテモ、ソレガ鑛業權ト云フモノハ、滿洲鑛山開發會社ガアル爲ニ、租鑛權、詰リ我國内地ノ鑛業權ニ相當スル租鑛權ヲ貸シ、租鑛權ヲ民間ニ與ヘル、ソレモ發見者ニハ與ヘナイト云フヤウナ規定デアリマス、爲ニ滿洲ニハ幾多貴重ナル資源ガアルカモ知レマセスガ、其ノ開發ハ遲々トシテ進ンデ居ラナイ、サウ云フ結果ニ内地、朝鮮モナリハシナイカト云フコトヲ、私ハ憂慮スル者デアリマスガ、此ノ點ニ付テハドウ云フ御考デアリマスカ、又本會議デアリマシタカ、委員會ノ速記録デアリマシタカ、記憶ニ依リマス、船舶及鑛業權ノ讓渡利得ニ付スル課税ハ、歐洲大戰當時我國ニ於テ之ヲヤツテ見タ前例ガアルト云フコトヲ聞イテ居リマス、歐洲大戰當時今日トハ、凡ソ我が國內ノ事情ハ非常ニ異ツテ居ルノデアリマス、私ガ言フマデモナク、例ヘバ金ノ如キモ、歐洲大戰當時ハ我國ニ未曾有ノ内外正貨ノ保有ヲ致シテ居リマス、又其ノ他ノ重

要鑛物ニ致シマシテモ、今日程其ノ増産ヲ痛切ニ感ジテ居ナカツタ、今日ハ國際貸借ノ實際上、正貨ノ獲得上、絕對ニ金ノ増産ガ必要デアアル、軍用資材其ノ他一般ノ機械工業ノ資材トシテ、其ノ他ノ金以外ノ重要鑛物ノ採掘増産ハ絕對ニ必要デアアル、歐洲大戰當時トハ異ツテ居リマス、又船舶及ビ個人ノ持ツテ居リマス鑛山ノ讓渡利得税ハ、昭和十四年度デ凡ソ三百萬圓位デアルト云フ御豫定デアアルサウデアリマスガ、其ノ三百万圓ノ中、假ニ三分ノ二ガ鑛山ノ讓渡利得税ト致シマス、僅ニ二百万圓デアリマス、二億ノ増税中僅ニ百分ノ一ニシカ當ラナイ二百萬圓ノ稅收入ヲ得ンガ爲ニ、此ノ大事ナ場合ニ、大事ナ地下資源ノ開發ニ一重大支障ナルガ如キ課税ハナサラヌ方ガ、寧ロ政府ハ宜イノデハナイカ、斯様ニ私ハ考ヘルノデアリマス、私共ガ新聞紙上其ノ他デ聞ク所テハ、此ノ立案ノ當初ニ當ツテハ、唯全般的ニ鑛山、船舶ノ讓渡利得ニ對シテ、二割ノ利得稅ヲ課スル案デアツタラシク聞イテ居ルノデアリマスガ、今日成案トナツテ提案サレタモノヲ見マス、今年四月一日以降設定シタ鑛業權ニ付テハ本法ハ適用シナイ、斯ウ云フコトガ加ツテ居ルノデアリマス、後デ御氣付ニナツタノカ、

或ハ初メカラサウ云フ立案ノ御趣旨デアツ
タカ知レマセヌガ、何レニ致シマシテモ洵
ニ是ハ結構ナコトデアリマシテ、餘程私ガ
今日マデ申シマシタ憂フベキコトガ緩和サ
レテ參ツタノデアリマスガ、併シナガラ本
年ノ四月一日ヨリ以前ニ鑛業權ヲ設定サ
レタ、今カラ三年モ五年モ七年モ前カラ鑛
業權ヲ持ツテ居ツテ、何等カノ事由デ、交
通ノ不便、或ハ本人ノ無知、或ハ無能、或
ハ其ノ他ノ事情ニ依ツテ、相當重要ナ鑛山
デアリナガラ、未ダ休眠シテ開發サレテ居
ナイ所モアルカモ知レマセヌ、斯ウ云フモ
ノハ今日立派ナ山デアアルカラ一ツヤラウト
云ツテモ、之ヲ他ニ讓渡スル、現金デ賣ラ
ナイデ株式デ取得スル場合ニモ、ヤハリ二
割五分ノ課稅ヲサレル、マダ金ニナラナイ
株式デ、百万圓ノ額面ノ株式ノ取得ハ、現
金デ二十五萬圓ヲ政府ノ稅金トシテ納付ス
ルコトハ出來ナイ、出來ナイカラマア抛ツ
テ置カウ、斯ウ云フコトニナレバ、ヤハリ
本年ノ四月一日以前ニ設定サレタ權利者デ
モ、之ヲ世間ニ發表シナイデ、其ノ内此ノ
法律ガ段々緩和サレルマデ待タウト云ツテ、
大事ナ地下資源ガ死藏サレル虞ガ多分ニア
ルノデアリマス、僅ニ二百萬圓ソコノ
稅收入ノ爲ニ、場合ニ依ツテハ其ノ十數倍

或ハ其ノ數十倍ノ重要鑛物ノ増産ヲ阻止ス
ルト云フヤウナコトハ、寧ロ國家ノ爲ニ不
利益デハナイカト思ツテ居ルノデアリマス
ガ、大藏當局ノ御所見ヲ御伺シタイノデア
リマス、又只今申シマシタ昭和十四年四月
一日以降ニ設定サレタ權利、ソレハ勅令ノ
定ムル所ニ依ルト云フコトニナツテ居リマ
スカラ、何ニナルカ今日分リマセヌガ、ソ
レハドウ云フ種類ヲ御豫定ニナツテ居ルノ
デアリマスガ、例ヘバ現在國稅ノ所得稅及
ビ營業收益稅ヲ免除サレテ居ル金、銀、鉛、
亞鉛、銅ト云フヤウナモノヲ、御豫想ニナツ
テ居ルノデアリマスガ、或ハ其ノ中ノ極ク
少數ノモノデアリマスガ、恐ラク今日提案
サレルマデニハ、十分其ノ邊ハ御研究ニナ
ツタコトデアラウト思ヒマスガ、其ノ點ヲ
御示ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、私ノ
質問ノ要旨ハ唯ソレダケデアリマスガ、尙
ホモウ一ツ金ノ増産ニ關シマシテ、現在ノ
政府ノ金ノ買上價格ハ十四圓何十錢カデア
リマス、勿論國際相場ノ開キモ極ク僅カニ
ナツテ居ルト云フコトデアリマスガ、今尙
ホ此ノ大事ナ日本ノ金ガ海外ニ密輸出サレ
テ居ルモノガ相當ニアリマス、内地カラノ
密輸出ハ無イニ致シマシテモ、朝鮮方面カ
ラ鴨綠江ヲ通ジ、或ハ北朝鮮ノ方面カラ滿

洲國ヲ經テ、滿洲及ビ支那ニ相當數量ノ金
ガ密輸出ヲサレテ居ナイカト云フコトデア
リマス、之ヲ御伺致シタイデアリマス、今
尙ホドレダケノ價格デアアルカ、一定シタ價
格ハ無イヤウデアリマスガ、現在日本ノ金
買上相場ヨリモ遙ニ高イ、場合ニ依ツテハ
二十圓、二十五圓ト云フヤウナ價格ヲ以テ、
密輸出サレタ金ヲ北支方面カラ買上ゲテ居
ルト云フヤウナ噂ヲ聞イテ居リマス、一説
ニ依リマス、是ハ日本ノ正貨ノ保有高ヲ
減ラシテ、國際貸借ヲ惡化サセテ、サウシ
テ軍用資材ノ輸入ヲ困難ナラシメンガ爲ニ、
蔣介石ガ手ヲ廻シテ、安イ八片ノ爲替相場
ノ支那ノ法幣デ買ハセテ居ルト云フ噂ヲ耳
ニスル位デアリマス、此ノ密輸出ノ取締ハ
如何、場合ニ依ツテハ、之ニ對抗スル意味
デハアリマセヌガ、此ノ密輸出ヲ防止スル
一ツノ助ケニモナルシ、又金ノ増産ヲ更ニ
獎勵スル方法ト致シマシテ、國際相場ヲ遙
ニ超エテ、此ノ金ノ買上ノ價格ヲ引上ゲテ
見テハドウデアアルカ、是モ一ツノ方法デハ
ナイカ、假ニ昨年ナリ本年ナリノ金ノ産出
高ガ二億圓ト假定致シマシテ、此ノ二割ノ
買上價格ノ引上ヲ致シマス、四千萬圓デア
リマス、四千萬圓ノ通貨ノ膨脹ハ、或ル程
度ハ物價ニモ影響致スデアリマセウガ、

併シナガラ今日二十億ニ近キ兌換券ノ發行
高ニ對シマシテ、四千萬圓位金ノ買上價格
引上ノ爲ニ紙幣ガ増發サレル結果ニナリマ
シテモ、大シタ影響ハナイノデハナイカ、
段々政府ノ計畫サレル如ク二億ガ三億ニナ
リ、結局一箇年五億圓ノ増産ヲスルヤウナ
時代ニナリマシテモ、是ハ一億圓デアリマ
ス、一億圓ノ紙幣ガ増發サレマス、相當
ノ影響ガアリマセウガ、併シ是ハ私共素
人ノ想像デアリマスガ、日本ノ産金ガ五
億ニ達スル時ハ、日本ノ經濟事情モ餘程
今日ト異ツテ來ハシナイカ、吾々ノ希望ス
ル所デアリマセヌガ、通貨ノ膨脹ハ必然
的ニ増加ヲ來シハシナイカ、一億位ノ紙幣
ノ増發デハ、ソレニ依ツテ其ノ當時ノ經濟
界ニ惡影響ヲ及ボス程ノモノデハナイデハ
ナイカ、之ヲ又一面カラ考ヘマス、今日
ニ於キマシテ四千萬圓ノ——百圓デアリマ
スカ、一千圓デアリマスカ知レマセヌガ、
四千萬圓ト云フ、紙幣ヲ、何百枚カ何千枚
カ發行スルコトニ依ツテ、ソレガ經濟上、
金融上ドンナ變化ガ及ブカ、私共素人ニハ
分リマセヌガ、素人カラ考ヘマス、ソレ
ハ此ノ際斯ウ云フヤウナ變態的ノ財政經濟
ノ時代ニ於テ、思切ツテヤルコトデハナイ
カ、他ノ方法ニ依ツテハ、現在ノ政府ノ豫

定計畫ノ二割、三割ノ増産ヲ見ルコトハ、是ハ非常ニ困難デアリマス、買上價格ヲ二割引上グルコトニ依ツテ假ニ二割ノ増産ヲ致ストスレバ、四千萬圓ノ紙幣四千萬圓ノ正金ヲ得ル、是ハ非常ニ結構ナコトデハナイカ、五億圓ノ増産ヲスル場合、二割増産スレバ、一億ノ増産ヲシタコトニナルト云フヤウナ考ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、政府ハ之ニ對シテ御考慮ニナツタコトガアリマセウカ、或ハソレハ絕對ニイケナイモノデアルカ、御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス、私ノ御尋致シタイノハ是ダケデアリマス

○松村政府委員 只今増稅法案中ノ臨時利得稅ニ關係ヲ持チマシタ鑛業權及ビ船舶ノ讓渡ニ關スル御質疑ガアリマシタ、詳細ナコトハ御承知ノ通りニ、殊ニ只今御質疑ノ問題ハ、非常ニ重要ナル事項トシテ、一昨日以來増稅ノ委員會ニ於テ、質疑應答ヲ重ネラレテ居ル大キナ問題デアリマス、ソコデ率直ニ申上ゲマスルガ、只今御説ノ通りニ、全國ノ鑛山ハ必ズシモ大會社、大資本家ニ依ツテ發見サレズニ、各方面ノ人ガ「ハシマー」ヲ持チ、山ヲ涉リ、其ノ結果發見サレルモノガ多イト云フコトハ事實デアリマス、ソレデアルカラ其ノ鑛業權ノ讓渡ニ付

テ、現金ノ讓渡ナラバ問題ナイノデスケレドモ、只今御説ノ通りニ、ソレヲ株式化シタ場合ニ問題ガ起ルノデヤナイカ、斯ウ云フコトデアリマス、是ハ非常ニ面倒ナ問題デアリマスガ、極端ニ考ヘマスルト、私ハ今日ノ日本ノ鑛業權ノ讓渡カラモ、一方デハ鑛山發見ト云フコトガアルト同時ニ、ソレカラモ随分幾多ノ弊害ガ起ツテ居ルト云フコトハ、看過シ得ナイと思フノデス、弊害トハ、一攫千金ヲ夢ミルコトハ宜イガ、ソレガ多少ノ弊害ヲ起シ、更ニ又泡沫會社ガ此處ニ起ツテ來ルト云フコトモ、今日日本ノ鑛山關係業者ニ見逃シ得ナイ一ツノ弊害デアラウトモ考ヘラレルノデアリマス、ソレデアルカラ實際ノ狀況ヲ見マスルト、鑛業權ノ讓渡ニ當リマシテハ、全部株式ニソレヲ評價スルトカ云フコトモヨリモ、事實ハ或ル程度ノ現金ヲ取ツテ、其ノ又一部分ヲ會社ニ評價サレテ居ルト云フノガ、實情ニ於テ相當多イト思フ、若シサウデナク全部株式ニ評價スルト云フヤウナ形ヲ取ツテ居リマシタナレバ、是ハ納稅ノ上ニ於テ非常ニ不便ガ生ズルノデアルカラシテ、此ノ立法ノ結果、或ハ日本ノ鑛業權讓渡ノ形式ニ於テ、將來多少ノ變化ヲ生ズルカモ知レヌト思フノデスガ——私ソレハ變化ヲ生ズ

ルコトガ、國策ノ上ニ於テ場合ニ依ツテハ宜イノデヤナイカト考ヘラレルノデアリマス、全部現金デアアルコトモ、ソレハ困難ナ場合ガアリマスルガ、全部ソレヲ株式ニ評價スルト云フコトヲ前提トシテノ議論モ、ドウカト思ハレルノデアリマス、ソコニ、繰返シテ申シマスルト、一攫千金ヲ夢ミタ方面ニ、幾多ノ泡沫會社ガ出來テ——一番日本デ泡沫會社ノ環境ノ多イノハ、鑛山關係ノ仕事デアルト思フ、隨テ斯ウ云フ關係カラ、隨分此ノ鑛山關係ノ泡沫會社ニ惱ミツツアル、只今御話ノ通り株ニ市場性ガナイ、市場性ガナイト云フコトモ、亦サウ云フ環境カラ起ルコトト思ハレマスノデ、隨テ鑛業權ノ讓渡ニ付テハ大局カラ見テ、今マデ在リ來リノヤウナ形ガ、最善ノ方法デアルカドウカト云フコトハ、此ノ際檢討ヲ要スル大キナ問題デハナイカト思フノデス、ソコデ鑛業權ヲ讓渡スル、二割五分ヲ直チニ拂ヘナイ、拂ヘナイナラバ、ソコデ一部分ハ現金ヲ以テ、一部分ヲ株ニ評價スルト云フヤウナ讓渡ノ形式ガ、今デモサウ云フ形ガ多イノデスガ、將來サウ云フ形ガ——今マデ株式評價ヲヤツテ居ッタモノガ、サウ云フ形ガ新ニ生レルノデアラウト思ヒマス、露骨ニ申シマスバ、左様ナ形ノ生レルコトヲ私ハ、個人ノ意見ヲ

申上グルヤウデアリマスガ、ソレガ宜イノデヤナイカト考ヘテ居リマス、ソコデサウ云フコトヲ考ヘマスルナラバ、將來斯ウ云フ法規ノ結果、新シキ讓渡ノ形式ガ生レ出ルト云フヤウナコトヲ考ヘマスルナラバ、二割五分ヲ取ルト云フコトニ依ツテ、日本ノ鑛山ノ探鑛、發見ガナクナルト云フコトヲ、直チニ想像スルコトハ如何カト思フノデアリマスルカラ、極端ナ場合ヲ想像スルコトモ、尙ホ一應檢討シテ見タイと思フノデアリマス、ソコデ勿論此ノ問題ハ相當ニ大キナ問題デアリマスノデ、商工省及ビ各方面トモ十分ニ檢討ヲシツツアリ、又スル考デアリマススケレドモ、併シ只今申上ゲタ通りニ、直チニ是ガ爲ニ日本ノ鑛業界ニ大打撃ヲ與フルト云フ結論ハ致シ兼ねルト思フノデアリマス、勿論稅收入ヲ考ヘタノデアリマススケレドモ、必ズシモ稅收入ヲ得ルト云フ目的ノミデハアリマセヌ、勿論全部鑛業ト限リマシテ、他ノ産業ニ及バナカツタコトハ、近時鑛山、船舶ニ付テ、此ノ讓渡ノ爲ニ非常ニ特殊ナ形態ニ於テ、今利益ヲ得ツツアルノガ多イノデアリマス、ソレヲ狙ツテ稅收入ヲ持ツテ來タコトハ事實デアリマスルケレドモ、ソレハ只今申シマシタヤウニ、能ク考慮スレバ納稅ガ出來ナイ

ト云フ結論ハナシ得ナイト思ヒマスカラ、將來鑛業權讓渡者ガソコニ意ヲ致スナラバ、或ハ之ニ依ツテ日本ノ鑛業界ニ一ツノ變革ヲ生ジテモ、ソレハ慶賀スルコトノヤウニ考ヘラレマス、ソコデ先程勅令其ノ他細カイ規則ニ付テノ御質疑ガアリマシタ、只今手許ニ法案モ何モゴザイマセスカラ、細カイコトハ後デ御答致スコトシテ、第二ノ點ハ其ノ時ニ譲リマシテ、第三ノ密輸ノ問題デアリマス、成程數年前、昭和十年、十一年マデハ非常ニ夥シキ密輸ガアツタコトハ、是ハ豫算總會其ノ他ニ於テ、政府カラ參考資料ヲ提出サレタ程、密輸ノアツタコトハ事實デアリマス、併シ昭和十二年以降、殊ニ十三年度以降、密輸出ハ殆ド全ク其ノ跡ヲ絶ツタコトモ、度々政府カラ御説明ヲ申上ゲタヤウナ次第デアリマス、殊ニ内地ノミナラズ滿洲、朝鮮ニ於キマシテモ、此ノ密輸出防止ノ爲ニ有ユル工作ヲ施シマシテ、朝鮮總督府ナドニ於キマシテハ、金ノ保有高ノ報告ニ依リマシテ、金ノ移動ヲ非常ニ監視シ、税關、警察其ノ他ノ方法ニ依ツテ、取締ヲ嚴重ニ厲行シテ居リマス、又滿洲ニ於キマシテモ色々方法ヲ講ジテ居ルノデアリマス、密輸出ト云フ問題ハ、ソレハ昭和十一年ト十二年ノ一部分デアリマ

シテ、十三年度ニ於キマシテハ、只今申シマシタヤウニ、殆ド跡ヲ絶ツタト申シテモ差支ナイト思フノデアリマス、勿論法網ヲ潛ル者ハ絶無トハ言ヘナイト思フガ、只今申シマシタヤウナ可ナリ嚴重ナル取締ヲ厲行致シテ居ルノミナラズ、其ノ當時ノ密輸出ハ、買上價格ノ問題トモ多少關聯ガアリマシタガ、今日ノ買上價格ニ依ツテ——此ノ問題ハアトカラ申上ゲマスガ——先ヅ大體ニ於テ密輸出ハ阻止サレツツアルモノト考ヘテ居ルノデアリマス、ソコデ買上値段引上ノ問題デスガ、是ハ非常ニ重大ナル問題デアリマシテ、屢、議會ニ於テモ問題ニナルノデアリマス、今日ノ所ニ於キマシテハ、政府ハ買上値段ヲ引上グル考ハゴザイマセヌ、其ノ引上グルノハ、通貨ヲ少シ引上グレバ宜イデハナイカト云フ只今ノ御話デアリマスガ、是ハ通貨ノ問題デ買上値段ヲ引上ゲナイト云フノデアリマセヌ、御説ノ通リニ、ソレハ買上値段ヲ一割、二割引上グルコトハ、通貨ノ上カラ見レバ大シタ問題デナイガ、買上値段ノ問題ハ、是ハ物價、爲替、各方面ニ影響スル所、重大ナル問題デアリマスカラシテ、買上値段ヲ引上グルト云フコトハ、今日ノ所政府ハ考ヘテ居リマセヌ、尤モ環境ガ非常ニ違ヒマスナラバ

別デアリマス、唯買上値段ハ引上ゲマセヌケレドモ、併シ他ノ方面ニ於キマシテ、生産費ヲ出來ルダケ安クスルト云フコトニ付キマシテハ、政府ハ出來ルダケノ努力ヲ拂ツテ居ルノデアリマス、例ヘバ鑛石ノ運賃、殊ニ含金鑛石ノ運賃ヲ低下スルトカ、各種ノ運輸其ノ他ニ付テ利便ヲ與ヘルトカ、有ユル方法ヲ講ジテ居リマス、又滿洲等ニ於キマシテハ、金ノ生産費ヲ低下セシムル施設トシテハ、内地ヨリモ非常ナ助成ト申シマスガ、努力ヲ之ニ拂ツテ居リマス、併シ只今御話ノ通りニ、豫定ノ計畫數量ニ達シナイコトハ遺憾デアリマス、内地ニ於キマシテモ、先程ノ政府ノヤツテ居ル施設ノ外ニ、大藏省ノ所管ニ於キマシテモ、産金業者ガ償却ノ場合ニ於キマシテハ、金鑛山ニ限り出來ルダケノ償却ヲ認メルト云フガ如キ、生産費低下其ノ他ノ處置ニ付キマシテハ、將來金鑛山ノ育成助長ノ爲ニ、相當ノ努力ヲ拂ツテ居ルノデアリマス、要スルニ買上値段ハ引上ゲナイガ、他方生産費ヲ低下セシムル方法ニ付キマシテハ、各種ノ努力ヲ拂ツテ居リマス、勿論尙ホ爲スベキ事柄ハアラウト思ヒマス、尙ホ此ノ金生産ヲ助長シ、生産費ヲ低下スル方法ハ、色々アラウト思ヒマスカラ、政府ト致シマシテ

ハ是等ノ方法ヲ講ジマシテ、サウシテ出來ルモノハ速ニ一ツツ實行致シタイト思フノデアリマスガ、只今申シマシタヤウニ、生産費低下ノ方法ニ付キマシテハ、政府ハ今日マデ相當ノ努力ヲシテ居ルノデアリマス、即チ換言致シマスナラバ、生産費低下ノ工作ヲ致スナラバ、見様ニ依ツテハ買上値段ヲ引上ゲ得タト同ジ結果ニナルノデアリマスカラ、單純ニ買上價格ヲ引上グルコトバカリガ、金ノ増産ヲ助長獎勵スル方法トモ考ヘマセヌ、繰返シテ申上ゲマス、今日ノ現狀ニ於キマシテハ、買上價格ハ此ノ程度ニ止メル積リデアリマスガ、他方政府モ、民間モ官民共ニ有ユル努力ヲ拂ツテ生産費低下ノ方策ヲ講ジタイト思ツテ、折角努力致シテ居リマス、尙ホ産金額ヲ殖ヤス各種ノ方法ニ付キマシテハ、私ハマダ是ハ方法ハ残ツテ居ルト考ヘテ居リマス、ソレハ私一個人ノ意見デアリマスガ、政府ト致シマシテハ將來幾多ノ方策ヲ講ジテ、出來ルダケ速ニ産金狀態ヲ一層改善致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、斯様ナ次第デアリマスカラ、只今御質疑ノ中ノ第一點ト第三點、密輸並ニ金ノ買上價格ニ關スル點ヲ御答致シマシテ、第二ノ勅令其ノ他ノ法案其ノモノニ關スル細カイ規定ニ付キマシテハ、御

必要ナラバ書類ヲ取寄セマシテ、後カラ御
答申上ゲタイト思ツテ居リマス

○小見山委員 只今ノ御説明デ、金ノ買上
價格引上ニ關スル府政ノ御所見ハハツキリ
諒解致シマシタ、唯私ガ冒頭ニ質問致シマ
シタ、鑛業權ノ讓渡ニ依ツテ現金ノ利得ヲ
得タ場合ハ問題ハナイガ、現金デナク株式
ヲ以テ取得スル場合ガ多イノデアリマス、
其ノ利得税ノ實施ニ依ツテ一番憂フベキ問
題ノ起ルラシイ株式取得ノ場合ニ付キマ
シテハ、政府ニ於テモ餘程御考ニナツテ、
一部分ハ現金、一部分ハ株式ト云フコトガ
從來モ多イシ、將來モ成ベクサウ云フ風ニ
誘導シタイト云フ御答辯デアリマス、煎ジ
詰メマスト、是非共此ノ稅法ヲ斷行スルト
スレバ、窮餘ノ結果ソコマデ行カナケレバ
ナラヌト思ヒマス、併シ假ニ十萬圓ノ評價
ニ依ツテ鑛業權ヲ讓渡シ、其ノ中利得税
ニ相當スル二萬五千圓ヲ現金、他ノ七割
五分ヲ株式トスルト云フ風ニハツキリ行
クコトハ、私ハ實情ニ於テハ不可能ト思ヒ
マス、ソナ風ニ旨ク行ク場合モアリマ
セウガ、是ハ唯政府ガ幾ラカサウ云フ風
ニ勸誘サレ、助長サレタト云フダケデハ、實
際ハ餘程困難デアル、サウ旨ク行ケバ非常ニ
結構デアリマスガ、サウ行カナイ場合ガ

多イノデハナイカ、サウナルト結局讓渡ガ
出來ナクナツテ、一般ノ企業心ヲ萎靡セシ
メ、或ハ金ヲ死藏セシムル結果ヲ惹起スル
コトニナリハシナイカト考ヘルノデアリマ
ス、又申サレマシタヤウニ、從來僅ノモノ
ヲ大キク見テ、假ニ五萬圓カ十萬圓ガ正當
ナ評價價格デアルノヲ、百萬圓モ二百萬圓
モニ評價シテ、老大ナ水膨レノ泡沫會社ヲ
作ルト云フ弊害ハ、確ニ私モ認メテ居ルノ
デアリマス、此ノ際斯様ナコトヲヤツテ
ハイケマセヌシ、又現在ノ資金調整
法、或ハ近キ將來ニ實施サルベキ改正商
法ニ依リマシテモ、此ノ點ハ段々ソナ風
ニ是正サレテ行ツテ居ル、殊ニ資金調整法
ニ係ル仕事デアレバ、是ハ完全ニ政府ガ評
價ヲスルノデアリマス、唯今ノ政務次官ノ
長イ御説明ノ中ニ、鑛業權ノ設定讓渡及ビ
是ノ經營ニ付テハ、根本的ニ何トカシナケ
レバ、此ノ儘デハ矛盾ガ起ルト云フヤウナ
御話ガアリマシタ、現ニ今モウ其ノ事ガ起
ツテ居ルノデアリマス、此ノ根本的ニ何ト
カシナケレバナラヌ、改革ヲシナケレバナ
ラスト云フノハ、ドウ云フ御趣旨デアリマ
スカ、假ニ鑛業權ハ政府或ハ政府ニ代ルベ
キ或モノガ、例ヘバ滿洲ノ鑛山開發會社ト
云フヤウナモノガ握ツテ居ル、サウシテ政

府ガ認メテ之ニヤラシテ宜シイト云フモノ
ニ鑛業權ヲ與テヤラセル、滿洲ノ租鑛權ト
云フヤウナモノヲ與ヘテヤラセルト云フヤ
ウナ意味デアリマスカ、或ハ他ノ意味デア
リマスカ、私ハ別ニ今日自由主義ヲ唱ヘル
者デハアリマセヌ、今日ハ總テノコトハ統
制ヲシテ行カナケレバ旨クイケナイコトハ
分ツテ居リマスガ、事業ノ經營其ノ他ニ付
キマシテハ、是ハ飽クマデモ統制一途デア
リマセウ、併ナガラ經營スルニ至ル一步前
ノ資源ノ發見、斯ウ云フコトハドウシテモ
統制ヲ以テハイケナイ、日本ニ大キナ鑛山
會社ガ出來テ、是ガ全國ノ鑛業ヲ統制シテ、
サウシテ其ノ中カラ一種ノ調査隊ヲ出シテ、
日本全國ヲ廻ラシメテ、日本ノ有用鑛山ヲ
新ニ發見スルコトハ困難デアル、ヤハリ其
ノ發見マデハ自由ニヤラセル、寧ろ獎勵ヲ
スル、一攫千金、一攫萬金ノ夢ヲ懷カシメ
テ山野ヲ跋涉セシメ、自由ニサセル、サウ
シテ自由ニサセル以上ハ、ドウシテモソレ
ニ鑛業權ヲ認メナケレバ、誰モ汗水垂シテ
廻ル者ハナイノデアリマスカラ、其ノ邊ヲ
ドウナサルノデアルカ、滿洲ノ如ク鑛業權
ハ其ノ發見者ニ必ズシモ與ヘナイ、政府ノ
適當ト認メルモノニヤラセルト云フ風ニ、
根本的ノ變革ヲシナケレバナラナイト云フ

コトノ意味デアリマスカ、其ノ事ヲ御伺シ
タイト思フノデアリマス、又後ニ返リマス
ガ、株式ヲ以テ取得スル場合ハ、其ノ中ノ
幾分ハ現金ヲ以テ取得スルヤウニ誘導シタ
イ、其ノ意味ハ鑛業權者ガ自己ノ有スル鑛
業權ヲ他ニ賣買讓渡スル場合ニハ、是非稅
金ニ相當スルダケハ現金デナケレバイケナ
イヤウナ方針ヲ、政府デ御採リニナル積リ
カドウカ、又サウ云フ風ニ間接ニ誘導サリ、
勸誘ナサル積リデアルカ、其ノ點ヲ御伺シ
タイノデアリマス、尙ホ先刻第二點トシテ
御願シマシタ、勅令トシテ他日發布サルベ
キ法律ノ種類ハ、書類ヲ以テ御提出ヲ願ヒ
マス

○松村政府委員 只今重ネテ御質疑ガアリ
マシタガ、先程私ノ申上ゲタコトノ言葉ガ
足りナカツタ爲デアリマシタカ、誘導若ク
ハ勸誘ト云フヤウナ考ハ、政府ト致シテハ
持ツテ居リマセヌ、唯從來トモ鑛業權ノ
讓渡ハ、一部ハ現金、一部ハ株式評價ト云
フヤウナコトハ、實例ノ上ニ於テ相當多イ
ノデアルカラ、若シ稅金支拂ノ不便ト云フ
ヤウナコトカラ、幾多ノ問題ガ起リ得ルト
假定スルナレバ、將來鑛業權ヲ讓渡スル形
式ガ自ラ變リ得ラデアラウト、斯ウ申上ゲ
タノデ、政府ハ積極的ニ之ニ對シテ何等ノ

誘導、何等ノ勸誘ヲ試ミルト云フヤウナ考
ハナイ、ソレハ自然ノ儘多少變ツタ形が生
レテ來ルノデハナイカ、斯ウ申上ゲタノデ
アリマス、ソコデ鑛山ハ、勿論個人ガ山野
ヲ跋渉スル所カラ起ルノデアリマスガ、併
シ今日僅ノ鑛區稅ヲ納メテ居リマシテ、早
ク適當ナル人ノ手ニ移ツタナラバ、速ニ開
發サルベキ鑛山スラ、僅ノ鑛區稅ヲ納メテ
居リマス爲ニ、休眠、死藏サレテ居ル所ノ
全國ノ鑛山モ少クナイノデス、ソコデ吾々
政府ハ、勿論誘導勸誘ハ致シマセスガ、併
シ是等ノ鑛山ガ出來ル限リ、個人ガ自ラ鑛
業權ヲ經營ニ移シテ、自ラ製鍊所ヲ設ケ、自
ラ經營スルコトノ出來ナイヤウナ人モ隨分
多イカラ、斯ウ云フヤウナモノハ、寧ロ其
ノ儘自由放任サレテ死藏休眠サレルヨリ
モ、適當ナル人ニ此ノ鑛業權ヲ讓渡シ
テ、サウシテ速ニ開發ニ移サルコトヲ望ム
ノデス、サウ云フ點カラ申シマスルナラ
バ、是ハ却テ何等カノ形デ、ソレ等方適當
ニ讓渡サレルコトガ望マシイノデアリマ
スルガ、サウ云フ點ヲ申上ゲマスルト、
唯此ノ増稅ノ規定ガ出タ爲ニ、鑛業權ヲ放
置シテ眠ツテ居ルト云フヤウナコトハ、必ズ
シモ想像サレナイノデス、寧ロ讓渡ノ形式
ガ自然ニ多少變更サレルデアラウ、先程申

シタ意味ハサウ云フ趣旨デアリマス、又
政府ハ此ノ鑛業權ノコトニ付テ改革ト云
フ——滿洲ニ於テハ、色々鑛業權ノコトニ
付キマシテ御説ノ通りノコトガアリマスガ、
内地デモ鑛業權ノ改革ニ付キマシテ、政府
ハ今折角計畫中ダト申上ゲルノデアリマ
セス、鑛業權ノ改革ト云フコトハ、別ニ茲
ニ御答致シテ居ラスノデアリマス、唯是ハ
鑛業權ノ問題ニ付キマシテハ、色々研究ス
ベキ問題ハアラウト思ヒマス、併シ政府ハ
現在ノ鑛業權ヲ改革スルトカ、何ダトカ云
フコトヲ申上ゲタノデアリマセス、其ノ
點ハ誤解ノナイヤウニ御願申上ゲマス、サ
ウ云フ意味ニ於キマシテ、此ノ法案ガ出マ
シタナレバ、鑛業權ノ讓渡ニ萬支障ノナイ
ヤウニ、サウシテ重要鑛山開發ニ支障ノナ
イヤウニ、政府モ此ノ方面ノ注意ヲ拂ハナ
ケレバナラヌ、併シ鑛業權所有者モ此ノ立
法ニ鑑ミラレマシテ、自然ニ適當ナル工作
ニ出テ、速ニ重要鑛山ノ實際的ノ開發、死
藏サレザル、休眠サレザル、實際的ノ開發
ニ進マレンコトヲ、政府トシテハ非常ニ望
ムヤウナ次第デアリマス

○小見山委員 政府トシテハ別ニ鑛業權ノ
讓渡ニ際シテ、一部ハ現金一部ハ株式ト云
フヤウナコトニ對シテ、直接ニモ間接ニモ
誘導スルモノデハナイ、斯ウ云フ法規ノ實
施ノ結果、ソシナ風ニ自然ニナツテ行クデ
アラウト云フ御見解デアリマスガ、私ハ中
中サウ旨ク行カナイト云フ考ヲ持ツテ居リ
マス、是ハ意見ノ相違デアリマスカラ、是
レ以上御尋申シマセス、又ソレト同時ニ現
在鑛山ヲ開發シ、經營スルノ能力ノナイ者
ガ、澤山ノ權利ヲ從來持ツテ居ル、ソレヲ
死藏シテ居リ眠ラシテ居ル、ソレハ出來ル
ダケ能力アル者ニ讓渡セシメテ、開發ヲセ
シメバナラスト云フ御話デアリマスガ、
是ハ當然デアリマス、是ハ我國ノ鑛業權ノ
一ツノ弊害デアリマシテ、一旦與ヘタ權利
ハ、鑛區稅ヲ納付サレタラ、容易ニ之ヲ取
上ゲルコトハ出來ナイ、其ノ爲ニ五年デモ
十年デモ眠ラシテ置クト云フノハ一番ノ弊
害デアル、ガカラソレヲ眠ラセナイデ喚起
シテ、サウシテ相當ノ資力アル者ニ賣リ、
或ハ之ヲ共同シテ開發スル場合ニ、此ノ稅
制ガ邪魔ニナリハシナイカ、一大支障ニナ
リハシナイカト云フ私ノ懸念カラ、此ノ質
問ヲ致シタノデアリマスガ、此ノ點モサウ
ハナルマイト云フ政府ノ御見込デアレバ致
シ方ナイノデアリマス、一應私ノ質問ハ是
デ打ちリマス

○板谷委員長 宇賀君
○宇賀委員 私ハ前會商工大臣ガ此處ニオ
居デノ時ニ、斯ウ云フコトヲ承ツタノデア
リマス、日本產金振興株式會社ガ法律決
マツテ以來、產金ガ今日最モ急務デアルノ
ニ、何故ニモウ少シ早ク昨年設立ヲ急ガナ
カツタカ、私共ノ聞ク所ニ依ルト、是ハ商
工當局ガ成ベク日本ノ大キナ產金業者ヲシ
テ澤山ノ株式ヲシメ、サウシテソコニ多
クノ株式ヲ引受ケサセルコトヲ目的ト致シ
マシテ、ソレハ現ニ御覽ノ通りニ株主名簿
ヲ見ルト、三井、三菱、住友其ノ他、大藏
大臣ガ五十萬株デ、アトノ大キナモノハ八
萬株トカ七萬株トカ云フ株主ニナツテ居リ
マスガ、サウ云フモノヲ目論シダガ、斯ウ
云フ會社ニ金ヲ出シテモ御利益ガナイ、其ノ
コトハ當時私ガ詳シク説明致シマシタ、ソ
レデ四分三厘ノ債券ヲ發行シテ、相當ノ利
鞘ヲ稼イデ貸スノデアルカラ、大キナ人ガ
人ノ鞘ヲ取ツタオ金ヲ借りテ、一分五厘取レ
マスカ取レマセヌカ知リマセヌケレドモ、
サウ云フ金ハ大キナ產金業者ガ借リル管ガ
ナイ、ノミナラズ今マデハ小サナ產金業者
カラ鑛石ヲ安ク買受ケテ居タ、何トナレ
バ、小サナ鑛業者ハ製鍊工場ヲ持タナイ
カラ、已ムヲ得ズ大キナ鑛業者ニ鑛石ヲ
賣ツテ居タノデアリマス、所ガ今度

ハ政府ガ此ノ會社ヲ拵ヘテ、是ガ自ラ鐵道運賃ヲ引イテ貰ツテ何箇所カニ製鍊所ヲ造ルト云フコトニナリマスレバ、今マデ大キナ金鑛業者ガ利得シテ居タ所ノ利得ガナクナルノデアル、ダカラサウ云フ會社ニ資金ヲ出シタクナイノハ、是ハモウ分リ切ツタ話デアル、ソレヲ商工省ガ何トカシテ當業者ニ大キナ株ヲ引受ケサセヨウト云ツテゴソ／＼ヤツテモ、ソレハ出來ナイノハ分リ切ツテ居ル、段々遅レニ遅レテ、十月幾日カニ至ツテ、半年以上經ツテヤツト曲リナリニ、尤モ曲リナリトハ商工省ハ御覽ニナラヌカモ知レマセスガ、私共ニ言ハスト曲リナリダ、曲リナリニ此ノ會社ガ出來タ、ソレハ何故遅レタカト云フコトヲ商工大臣ニ聽イタラ、色々會社ヲ作ルニハ都合ガアルカト言ハレル、都合ガアルカラト言ツテモ、斯ウ云フヤウナモノヲ、苟モ議會ニ法案ヲ出シテ居ル以上ハ、相當ニ目論見ガナケレバ斯ウ云フ法案ハ出セナイ、勿論色々ナコトヲヤラナケレバナラスノニ、ソレガ遅レタ爲ニ今日マデ大シタコトハ出來ナカツタ、私聽クコトハ重複シマスカラ、聽クコトヲ止メマスガ、何故ニ遅レタカト云フコトヲ、モウ一遍ハツキリ答ヘテ貰ヒタイ、ソレカラ第二番目ハ、成程期

間ガ短カカツタカラ、何モ出來ナカツタヤウデアリマスルケレドモ、何カ此ノ法案ヲ議會ニ出ス時ニ、鑛山當局デハ一種ノ目論見書ミタイナモノヲ出シマシテ、内地ニ二千萬圓バカリノ金ヲ貸ス、朝鮮ニハ七千万圓バカリノ金ヲ貸スヤウナ案ヲ作ツテ、何デモ向フ十箇年位ノ資金ノコトヲ、ズット書イタ書類ヲオ出シニナツタ思フガ、ソレト産金會社ノ今日マデ執ツテ來タ事情ヲ考ヘルト、餘リニ差異ガアリ過ギル、興業銀行ガ貸シテ居ツタ所ノ二千万圓ノ金ヲ肩替リシタノト、自己ノ手ニ於テ僅ニ八百万圓バカリノ金ヲ貸シタト云フダデ、羊頭ヲ懸ゲテ狗肉ヲ賣ルト云フヤウナ批評ヲサレテモ、一言言開キハナイダラウト思フ、之ニ對スル辯明ヲ一ツ伺ヒタイ、ソレカラモウ一ツハ、コンナヤウナ會社ノ機構デ何ガ出來ルノダ、斯ウ云フコトデス、ト云フノハ、定款ヲ見ルト、五十圓株ニ付テ第一回二十圓ノ拂込ヲ取ツテ居リマス、隨テ五千万圓ノ會社デアリマスカラ、二千万圓ノ株金ヲ取ツタ、是ガ本當ニ行クナラバ、是ノ五倍ノ一産金振興債券ト云ヒマスガ、ソレヲ一億圓マデ發行スルコトガ出來ルノデアル、所ガ今言フ通りニ、株金スライヤ／＼ナガラ出シタ連中デアルカラ、中々此ノ債券ヲ割引ス

ル人ガナイト見エル、若シモ喜ンデ此ノ債券ヲ買フ人ガアルナラバ、自己資金ガモツト早ク澤山出來ナケレバナラス、ソレガサツパリ此ノ株式ヲ募集シテ居ルト云フヤウナ話モ聞カナケレバ、今頃ニナツテ政府ガ特ニ茲ニ問題ニナル所ノ資金特別會計法案ト云フモノヲ御出シニナツテ、サウシテ日本産金振興株式會社ニ、資金特別會計ニ在ル所ノ金ヲ貸付ケテ、會社ハ其ノ金ヲ貸付ケテ貰ツテ、ソレヲ産金ノ營業資金ニシヨウ、斯ウ云フヤウナコトニナツテ居ルヤウナ有様デスガ、是デハ中々所期ノ目ヲ達スルコトハ、私ハ容易デナイダラウト思ヒマスガ、是デモ旨ク行クノカドウカ、私共ハ決シテ此ノ新産金會社ニケチヲ付ケル積リハゴザイマセヌ、成ベクナラバ此ノ會社ガ立派ニ成功ヲシテ、ドン／＼必要ナル貸付ヲシテ、日本ノ産金額ヲ三億デモ、五億デモ、出來ルダケ多クスルヤウニ致スコトヲ希望スルコトハ山々デアリマス、併シナガラ今日マデ商工當局ガヤツタヤウニ、腰ノ弱イ腰ツキデ斯ウ云フコトヲヤツテ行ツタノデハ、所期ノ目的ヲ達スルコトハ能ハザルベシト私ハ考ヘルノデアリマス、ソレデ是ダケノ質問ヲシタノデアリマス、モウ一ツ附加ヘテ置キタイコトハ、何レ産金

振興債券ト云フモノヲ、資金特別會計ノ餘ツテ居ル金デ賣ルンダラウト思フ、一體此ノ會社トシテハ幾ラノ金ヲ欲シイノカ、ソレカラ「バー」デ發行シテ、四分三厘ノ十三年トカ十五年ノ債券ダラウト思ヒマスガ、其ノ場合ニ於テ、茲ニ幾許ノ利鞘ヲ取ツテ、産金振興株式會社ハ多クノ金ヲ必要トスル會社ニ御貸シニナルノカ、其ノ利鞘ノコトモ聽イテ見タイと思ヒマス

○小金井政府委員 日本産金振興株式會社ガ設立ヲ見マシタノハ、昭和十三年九月中旬ノコトデアリマス、事業ヲ開始致シマシタノガ十月一日デアリマシテ、前ノ議會ニ於キマシテ、此ノ法律案ガ議會デ御審議セラルル場合ニ於テ、法律ハ四月上旬施行スル見込デアアル、ソレカラ會社ノ營業ノ開始ハ十月一日以後ノ見込デアルト云フコトヲ申上ゲテ居リマスノデ、是ハ大體豫定通り行ツタト申上ゲ得ルノデアリマス、併シ御説ノ通り、斯ウ云フ施設ハ成ベク早イ方ガ宜イノデ、出來ルダケ努力ヲ致シマシタガ、色々ナ事情デ遂ニ豫定通りニシカ實施出來ナカツタト云フ有様デアリマス、唯株式ノ引受ガ、所謂産金關係ノ大手筋ト言ハレテ居ル者ニ、無理ヤリニ押付ケテ持タスガ爲ニ遅レタト云フコトハ、全然ゴザイマ

セス、其ノ前ニ大體産金業者ニ此ノ金ヲ使
ツテ戴キ、同時ニ産金業者ハ多クノ他ノ重
要ナ鑛産物ノ増産ヲ控ヘテ居リマスカラ、
其ノ方ノ増産ヲ随分強要致シテ居リマス
デ、當時ノ事情ニ於キマシテハ、此處デ正
直ニ申上ゲマスト、金ヲソレ程政府ガ急速
ニ御入用ナラバ、ヤハリ金ニ付テハ安心出
來ルヤウナ金ノ借口ヲ欲シイト云フヤウナ
コトヲ申シテ居ラレマシタガ、其ノ點ハ株
式ノ引受ニ付テハゴタ／＼ハゴザイマセ
ヌ、併シ今日ノ狀況ニナツテ見マスト、
大キナ會社ハ一本立チテ相當低利ノ社債モ
發行出來ルヤウニナツテ居リマスノデ、其
ノ點ハ此ノ會社ニ資金ニ於テ依存スルコト
ハ割合ニ少クナツテ居リマス、唯此ノ會社
ノ使命ハ、中小金山ニ對シテ出來ルダケノ
努力ヲスル、斯ウ云フ建前デアリマスノデ、
其ノ方ニ今後モ向ツテ邁進スルヤウニ努
メテ居ル次第デアリマス、尙ホ第一點トシ
テ、昨年此ノ會社法案ノ御審議ヲ願ツタ時
ニ、提出致シマシタ資料ニ付テ御尋ガアリ
マシタガ、是ハ議會ニハ實ハ出シテ居リマ
セスノデアリマス、唯吾々ノ方デハ、今宇
賀サンノ御説ノ通りニ、漫然斯ウ云フ計畫
ヲ立テタノデハナクシテ、大體心積リノ計
畫ヲ立テタノデアリマス、唯其ノ數字ハ今

日カラ見マスト少シ變ツテ居リマス、ソ
レデ昭和十四年度ニ於ケル此ノ會社ノ事業
資金ノ大體ノ計畫ヲ申上ゲマスト、昭和十
四年ヲ通ジマシテ、大體一億一千万圓近イ
金ヲ動カス豫定デ計畫ヲ立テテ居リマス、
ソレカラ此ノ産金振興債券ヲ速ニ發行シナ
イデ、何ヲグヅ／＼シテ居ルノデアルカト
云フヤウナ御言葉デアリマスガ、是ハ洵ニ
御尤デ、之ニ付キマシテハ、金資金特別會
計カラ、此ノ産金振興債券ノ、募集ニ應ズ
ル、是ハ内輪話ニナルカモ知レマセヌガ、
大體サウ云フ豫定ニナツテ居リマス、所ガ
中々社債ノ發行ニ付テハ、色々各方面ノ事
情ヲ考慮致サナケレバナラヌノデ、一概ニ
此ノ産金振興債券ニ應募スルト云フ形デ、
金資金カラ急激ニ相當澤山ナ金ガ出シ得ナ
イト云フヤウナ事情ニアリマスノデ、今般
貸付ノ形デ資金ヲ此ノ方ニ流ス方法ヲ考ヘ
タノデアリマス、ソコデ今後ハ恐ラク此ノ
法律案ノ實施ニ依リマシテ、資金ノ貸付ト
云フ形ト、産金振興債券ニ應募スルト云フ
形デ、會社ノ方ニ金ガ流レテ行クグラウ、
斯ウ考ヘテ居リマス、又サウ致シタイト云
フ積リデ、大藏省ト出來ルダケ安キ資金ガ
入リマサヤウニ協力致シツアル次第デゴ
ザイマス、然ラバ資金ヲ得ル爲ノ金利ト、

之ヲ産金業者ニ貸付ケル其ノ金利トノ開キ
ハ、ドノ位ニナルダラウカト云フ御尋デア
リマスガ、是ハ出來ルダケ安ク、其ノ手數料
ト申シマスカ、其ノ間ノ手數料稼ギノヤウ
ナコトヲ、成ベク少ク致シマシテ貸出サセ
ル豫定デ居リマス、是ガ四分二厘ノ産金振
興債券ノミニ依ルト致シマスト相當「コス
ト」ガ高ク付キマスノデ、何等カ安イ金ヲ
借りテデモ補ツテ、其ノ「コスト」ヲ下ゲ
テ行ク、斯ウ云フ積リデ居リマス、大藏當
局ニ於テモ十分此ノ點ニ付テハ、同ジク産
金振興會社ノ監督官廳デアリマスノデ、御
同情ヲ以テ今協力シツアル次第デゴザイ
マス 尙ホ日本産金振興會社ノ業績ニ付キ
マシテ御配慮ニナツタノデアリマスガ、正
直ニ申上ゲマスト、當初ハ少シ大事ヲ取り
過ギタト云フヤウナ嫌ガアルノデハナカラ
ウカ、斯ウ云フ御批判ハ私共モ免レ得ナイ
ト思ヒマス、併シ最近ニ於キマシテハ相當
思切ツテ、兎ニ角山ヲ開カシテ見ルト云フ
ヤウナ積リデ、貸出シノ方針モ定メテ居ル
次第デアリマス

○宇賀委員 私ハ當局ノ洵ニ誠意ノアル御
話ヲ聽イテ満足スル者デアリマスルガ、中々
是ハ容易ナコトデヤアリマスマイト思フ
ノデス、此ノ點モ大層偉イ人ヲ澤山オ連レ
ニナツテ、一番ニ總裁、副總裁ヲヅラリト
列ベタケレドモ、貸ス金ガナクテ、手モ足
モ出ナイデ、洵ニ氣ノ毒ダト云フヤウナ感
ジ——私ハ友人モ居リマスカラ、サウ云フ
感ジモスルノデス、併シ兎ニ角國策會社デ
アルカラ、國策會社デアル以上ハ、或ル程
度ノ犠牲ト云フモノハ、是ハ仕方アルマイ
カト思ハレマス、其ノ爲ニ外部ノ人モ、中々
此ノ債券ヲ一般市場ニ賣出シテモ、此ノ
産金振興債券ト云フモノハ買手ガナイノダ
ラウ、尤モマダ賣出サナイカラ、アルカナ
イカ知レマセヌガ、コンナヤウナ事情ハソ
コ等ニアルノデヤナイカト思ヒマス、先程
私ガ遅レタト言ツタノハ、私共ハ兎ニ角此
ノ位ナ會社ヲ拵ヘテ、政府ガ兎ニ角二千五
百萬圓資本ヲ出シテ下サル、斯ウ云フナラ
バ、是ハモウ半年以上待タナクテモ、モツ
ト早く出來ルダラウト、斯ウ考ヘタカラ御
尋シタノデアリマスルガ、併シ大體今ドノ
位ナ鞆ヲ取ルノカト云フコトヲ聽イタノ
ハ、四分三厘ノ債券ヲ發行シテ、ソレヲ貸
付金ニシテ貰ツテモ宜イノデス、サウシテ
一億圓金ヲオ借りニナツテ、是ノ一分五厘
カ一分二三厘ノ鞆ヲ取りマスト、ソレデモ
ウ百何十萬圓カ何モシナクテ、其ノ鞆ダケ
デモソレダケ收入ガ出ルノデアツテ、一億

圓金ヲ借リルコトモ出來レバ、遊シテ居テモ經費ヲ支辨スルヤウナコトハ出來ル、況ヤ拂込ガ二千萬圓デスカラ、二千萬圓ノ四分ヲ儲ケレバ宜シイノデスカラ、是ハ八十万圓ノ會社ニ居レバ、其ノ株式會社ハヤツテ行ケル、政府ノ方ハ儲カラナケレバ、ナニ一千万圓ノ拂込金ニ付テハ一文モ金ヲ拂ハナクテモ宜シイ、茲ニ特權ハアルノデア

ルカラ、其ノ特權ヲ巧ク利用シテ、眼光紙背ニ徹スルト云フヤウナ頭デ之ヲ運用シテ行ケバ、私ハモット業續ヲ擧ゲルコトガ出來ルダラウト思ヒマス、併シ金山ト云フモノハ、私ハ知リマセヌケレドモ、隨分難カシイヤウナ御話デアリマスカラ、私サウハ言ツタケレドモ、決シテ何デモ無茶苦茶ニ金ヲ貸セト云フヤウナコトヲ御勸メスル譯デハゴザイマセヌ、唯日本ガ今最モ必要トスルモノハ金デアルカラ、此ノ點ニ一番ノ力ヲ注ガナケレバイカヌ、先程承リマスレバ、商工省トシマシテハ、斯ウ云フ方面ニ付テノ獎勵金モ相當多額ニ出シニナツテ居ルヤウナコトデアリマスノデ、本件ニ付テモ十分產金振興會社ノ重役其ノ他ノ諸公ヲ督勵シテ、所期ノ目的ヲ一日モ早ク達セラレンコトヲ切望ノ至リニ堪ヘナイノデアリマス、是デ私ノ質問ハ止メテ置キマス

○板谷委員長 宇賀君、アナタノ質問ニ關聯シテ此ノ際私一寸聽キタイト思ヒマスノデ、一寸席ヲ代ツテ戴キマス

〔委員長退席、宇賀委員長代理著席〕

○板谷委員 宇賀君ヨリ產金振興會社ノ問題ニ付テ御質疑ガアツタノデアリマスガ、關係御當局ノ答辯ガ要領ヲ得マセヌノデ重ネテ御伺シマス、私ハ先般モ此ノ會社ノ創立ノ當時カラ關係シテ居リマシタノデ、現在ノ狀態デハ、決シテ此ノ會社其ノモノガ活動ハ出來ナイト云フコトヲ、痛切ニ申上ダタノデアリマス、即チ此ノ會社ハ投資會社デアリマシテ、只今宇賀君カラ御質問ニナリマシタ通り、四分二厘ノ社債ヲ發行シテ、ソレニ對スル利輜ヲ取ルトシテ、現在ノ貸付ノ狀態ヲ聞イテ見マス、最低ガ五分五厘、最高ガ七分デアル、然ルニ是マデノ成績ガ、朝鮮殖産或ハ興業銀行ノ古借金ノ肩替リト申シマスガ、其ノ金額ガ二千八百万圓、又新規ニ貸出シタモノガ八百五十万圓アル、先達テ商工大臣ハ、此ノ會社ハ中小ノ鑛業者ニ貸スノガ目的デアル、斯ウ云フ話デシタ、又只今小金政府委員モ其ノヤウナ御話デアツタノデアリマスガ、勿論現在ノ高イ金利デアルトスレバ、恐ラクハ一流會社ハ借リハシナイ、中小鑛業者ニ對

シテ五千万圓ノ資本、或ハ二億五千万圓ノ債券ヲ持ツテ居リマスルガ、此ノ貸付ヲ行ツテ豫期ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルト云フ御成算ガアルノデアルカドウカ、ソレヲ先ヅ第一ニ伺ヒマス

○小金政府委員 初ノ計畫ハ先程宇賀サンノ御質問ニ御答致シマシタヤウニ、又板谷サン十分御承知ノ通りニ、大キイモノト小サイモノト睨ミ合セテ計畫ヲ立テタノデアリマス、所ガ大キイ方ハ、今日マデノ實績ニ於キマシテハ、サウ澤山ノ申込ガアリマセヌ、隨テ中小ノ金山或ハ其ノ他ガ何等カ金融ノ關係デ、此ノ會社ヲ御利用ニナルモノニ、主トシテ資金ガ貸出サレルコトニナツタノデアリマス、サウナリマス、大體ニ於テ豫期シタ通りノ利益ガ、投資ノミカラハ出テ來ナイノデハナイカト存ジマス、併シ是ハモウ少シ會社ノ運用ノ模様ヲ見マシテ、何等カノ補強工作ガ必要デアルナラバ、其ノ時考ヘナケレバナラスノデハナイカ、之ニ對シテハ、サウ云フ情勢ノ變化ガ現ニ起リツツアルノデハナイカ、斯ウ云フ御意見ガ出ヨウカトモ思ヒマスガ、ソレ等ノ點ニ付テモ大藏省ト十分連絡ヲ執リマシテ、出來ルダケ萬全ノ處置ヲ講ジタイト考ヘテ居リマス

○板谷委員 私ハ別ニ政府ヲ追究スル意味デ御尋シテ居ルノデハナイ、產金政策ハ現下ノ重大ナ問題デアリマスカラ、オ五ニ胸襟ヲ披イテ能ク協議シタイ、斯ウ云フ意味ニ於テ御尋シテ居ルノデアリマス、ソコデ此ノ振興會社ヲ積極的ニ働カセルト云フコトニ付テハ、何ト云フテモ低利資金ヲ求メナケレバナラス、今御話ニ依ルト、大藏省ト色々協議ヲシテ、成ベク安イ金ヲ使フト云フコトデアルガ、其ノ御協議ハ大體出來テ居ルノデアリマスガ、其ノ點ヲ伺ヒマ

ス

○小金政府委員 今雙方デ協議ヲ進メツツアリマス

○板谷委員 重ネテ申上ゲマスガ、中小ノ鑛業者ノ中ニハ、勿論ソレハ優良ノモノモアリマセウガ、併シナガラ結局此ノ會社ガ山ヲ引取ツテ、自分ガ經營ヲシナケレバナラヌ運命ニナルト云フコトハ、私ハ創立總會ノ當時ニモ言ツテ居ル、デアルカラシテ、此ノ會社ヲ活カスト云フコトニ付テハ、一面ニ於テ相當ノ富鑛ヲ持ツテ居ル所ノ大會社ニモ徹底的ニ融通シテ、サウシテ増産ヲ圖ルト云フコトモ御考ニナラナケレバナラス、中小鑛業者ニ貸スノハ、是ハ勿論必要デアリマセウ、併シ是ノミヲ目標トシテオヤリニ

ナツタノデハ、決シテ産金増收ノ目的ヲ達スルコトハ出来ハシナイ、隨テ又現在ノヤウナ高金利デアツテハ、是等ノ富礦ヲ持ツテ居ル會社ハ借リハシナイ、此ノ點ニ付テハ十分將來ニ於テ御研究ヲ願ヒタイ、ソレカラ更ニ御伺シタイコトハ、本朝ノ新聞ヲ見マス、産金獎勵ニ付キマシテ低品位金礦處理ヲスルト云フコトデアルガ、低品位ト云フノハ、一體何處ニ標準ヲ置イテ言ツテ居ルノデアルカ、御伺シタイ

○小金政府委員 大體百万分ノ四乃至五以下ノモノヲ考慮ノ中ニ入レテ居リマス

○板谷委員 昨年ノ議會ニ於テモ、低品位ノ處理ヲ百万分ノ四ニ置クト云フ、其ノ當時ノ吉野商工大臣ノ御話デアツタ、所ガ百万分ノ四ノ富礦ヲ處理スルトシテ、停車場ニ假ニ製鍊場ガアルトシテモ、山ハ恐ラク

停車場ヨリ三四里乃至五里位離レテ居ル、其處カラ停車場ニ出シテ來テモ、漸ク元ダ、手一杯ナ計算ガ出ルノデアルト云フコトヲ、數字ヲ示シテ話ヲシテ居ル、若シ之ニ鐵道運賃ヲ掛ケテ他ニ運ブト云フコトニナレバ、ソレダケノ損ガ行クト云フ結果ニナル、是ハ製鍊場ガ停車場ノ附近ニアルト假定シテノ話デアリマス、然ルニ昨年カラ今日マデヲ比較シテ見マス、材料其ノ他勞

働賃銀ニ於テ、殆ド二割五分モ高クナツテ居ル、デアリマスカラ、今御話ノ如ク低品位ノ金礦ヲ處理スルコトニ付テ、例ヘバ此ノ案ニ依ルト、全國ニ製鍊所ヲ十箇所御設ケニナルト云フコトヲ聞イテ居リマスカ、是デ處理ガ出来マスカ、私ハ他ニ何等カノ方法ヲ講ジナイ限りハ、是ハ斷ジテ出來スト思ヒマスカ、其ノ成算ガアリマスカ

○小金政府委員 是ハ御説ノ通りデアリマシテ、唯低品位礦カラモ、金ヲ此ノ際何トカシテ速ニ製鍊シテ出サナケレバナラス狀況ニ迫ラレテ居リマスコデ、斯ウ云フ措置ヲ講ズルノデアリマス、隨ヒマシテ其ノ場合ニ於キマシテハ、何カ補給金トカ、何等カノ處置ヲ執ラナケレバナラスコトト存ジテ居リマス

○板谷委員 將來研究スル、研究スル、出來ルダケ努力スルト云フ御答辯デアルカラ、率直ニ申シマス、幾ラ押問答ヲシテモ一向要領ヲ得ナイ、ソコデ金礦ト云フモノハ、言フマデモナク石炭ナドト違ツテ、サウアルモノデモナシ、富礦ト云ツテモ、一年ヲ通ジテ續イテ出ルモノデハナイ、現在日本ニ於テハサウ大シタ富礦ナンカハナイ、大體ニ於テ貧礦デ低品位ノモノガ多い、デアリマスカラ、産金増收ノ目的ヲ達スルコト

ニ付テハ、先程小見山君カラモ金ノ値段ヲ上ゲタラドウダト云フ御話ガアツタ、併シハ現在ノ國際關係ヤ色々ナ關係カラ、金ノ買上値段ヲ引上ゲルト云フコトハ出來ヌダラウガ、或ル程度マデ獎勵金ヲ出ス、獎勵ノ意味ニ於テ三圓カ五圓カ出シタナラバ命懸ケデヤル、是ガ手取早イト云フコトヲ、昨年ノ議會ニ於テ私ハ力説シタガ、ソレニ付テ何カ御考ハアリマセヌカ

○小金政府委員 差當ツテノ所デハ、産金獎勵金ヲ出スト云フ考ハマダ持ツテ居リマセヌ

○板谷委員 探礦ニ對シテ獎勵金ヲ出ストカ、或ハ製鍊ニ對シテ補助金ヲ出スト云フコトハ、是ハ從來ノ例カラ言ヘバ、殆ド八割マデハ泥濘ニ棄テタモ同様ダト云フコトヲ私ハ申上ゲタ、勿論優良ナ礦區ヲ持ツ優良ナ礦業者モ相當ニアリマセウガ、山師ニ利用サレテ、殆ド泥濘ニ棄テルモ同様ナ結論ニナルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、併シ政府ガ今御話ノヤウナ御意見デアルトスレバ、到底私ハ其ノ豫期ノ目的ヲ達スルコトハ困難ダト思フ、デアルカラ十分御考置キ願ツテ、其ノ責任ヲ果サレシコトヲ希望致シマス

○板谷委員長 山崎サン、商工大臣ハオ居デニナリマセヌガ、礦山局長ナリ、或ハ工務局長ニ御質問ガアリマスカ

○山崎委員 其ノ方面ニハゴザイマセヌ

○板谷委員長 東條君

○東條委員 今質疑應答ヲ聽イテ居リマシテ、大分當局ノ御考ガ分ツテ參ツタノデアリマスカ、金ノ増産ト云フ目的ヲ達シマスルノニハ、結局現在稼業中ノモノノ増産ヲ圖ルコト、ソレカラ今一ツハ未開發礦區ノ開發ヲ圖ルコト、此ノ二ツヨリナイコトハ申スマデモナイ筈デス、先般モ大臣ニ伺ツタノデアリマスカ、此ノ金ノ問題ハ、申上ゲルマデモナク根本的ノコトデアツテ、是ガ解決ヲスレバ、今ノ困難ナ問題ガ殆ド解決ガ付クノデアリマスカラ、今板谷委員長カラモ御話ガアツタ通り、是ニハ國ガ相當ニ犠牲ヲ拂ツテヤルト云フ積リデナケレバナラスト思フ、ソレデ稼業中ノモノノ増産ヲ圖ルト云フ方カラ行キマスルト、是ニハ色々支障ガアルト私考ヘル、第一ニ今假ニドシ／＼掘ツテ、技術上ノ多少ノ不利益ヲ忍ンデモ、ウシト増産ヲスルト云フコトニ致シマシタ結果、ドウナルカト云フト、税制ガ適當デナイ爲ニ馬鹿ヲ見ル、斯ウ云フヤウナ支障モアリマセウシ、資金ノ

ニ付テハ、先程小見山君カラモ金ノ値段ヲ上ゲタラドウダト云フ御話ガアツタ、併シハ現在ノ國際關係ヤ色々ナ關係カラ、金ノ買上値段ヲ引上ゲルト云フコトハ出來ヌダラウガ、或ル程度マデ獎勵金ヲ出ス、獎勵ノ意味ニ於テ三圓カ五圓カ出シタナラバ命懸ケデヤル、是ガ手取早イト云フコトヲ、昨年ノ議會ニ於テ私ハ力説シタガ、ソレニ付テ何カ御考ハアリマセヌカ

○板谷委員 探礦ニ對シテ獎勵金ヲ出ストカ、或ハ製鍊ニ對シテ補助金ヲ出スト云フコトハ、是ハ從來ノ例カラ言ヘバ、殆ド八割マデハ泥濘ニ棄テタモ同様ダト云フコトヲ私ハ申上ゲタ、勿論優良ナ礦區ヲ持ツ優良ナ礦業者モ相當ニアリマセウガ、山師ニ利用サレテ、殆ド泥濘ニ棄テルモ同様ナ結論ニナルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、併シ政府ガ今御話ノヤウナ御意見デアルトスレバ、到底私ハ其ノ豫期ノ目的ヲ達スルコトハ困難ダト思フ、デアルカラ十分御考置キ願ツテ、其ノ責任ヲ果サレシコトヲ希望致シマス

○板谷委員長 山崎サン、商工大臣ハオ居デニナリマセヌガ、礦山局長ナリ、或ハ工務局長ニ御質問ガアリマスカ

○山崎委員 其ノ方面ニハゴザイマセヌ

○板谷委員長 東條君

○東條委員 今質疑應答ヲ聽イテ居リマシテ、大分當局ノ御考ガ分ツテ參ツタノデアリマスカ、金ノ増産ト云フ目的ヲ達シマスルノニハ、結局現在稼業中ノモノノ増産ヲ圖ルコト、ソレカラ今一ツハ未開發礦區ノ開發ヲ圖ルコト、此ノ二ツヨリナイコトハ申スマデモナイ筈デス、先般モ大臣ニ伺ツタノデアリマスカ、此ノ金ノ問題ハ、申上ゲルマデモナク根本的ノコトデアツテ、是ガ解決ヲスレバ、今ノ困難ナ問題ガ殆ド解決ガ付クノデアリマスカラ、今板谷委員長カラモ御話ガアツタ通り、是ニハ國ガ相當ニ犠牲ヲ拂ツテヤルト云フ積リデナケレバナラスト思フ、ソレデ稼業中ノモノノ増産ヲ圖ルト云フ方カラ行キマスルト、是ニハ色々支障ガアルト私考ヘル、第一ニ今假ニドシ／＼掘ツテ、技術上ノ多少ノ不利益ヲ忍ンデモ、ウシト増産ヲスルト云フコトニ致シマシタ結果、ドウナルカト云フト、税制ガ適當デナイ爲ニ馬鹿ヲ見ル、斯ウ云フヤウナ支障モアリマセウシ、資金ノ

關係モアリマセウシ、色々ナ支障ガアルノデアリマセウガ、是等ヲ本當ニヤラセマスルニハ、國ガ有ユル方面カラ研究ヲシテ、此ノ支障ヲ取除イテ、税制ノ改革モヤラウシ、又範棒ナ儲ケハサセヌ代リニ、理由ノ立タヌ犧牲ニモ供セナイト云フ點ヲ、十分考究シテヤラセル必要ガアル、ソレニ尙且ツ應ジナイト云フ場合ニハ、強制力ヲ以テデモヤラセルト云フダケノ、徹底シタ計畫ガ立タナケレバナラヌコトト私考ヘルノデアリマス、先般商工大臣ハ懇談會ヲ開イタ結果トシテ、割當制デモシテ懇談的ニ、自發的ニ大イニ増産ヲ圖ラセル積リダト云フコトヲ言ハレテ居ツタノデアリマスガ、是ハ形ハサウ云フ形デ話合ハ出來マセウケレドモ、實際ノ結果カラ云フト、洵ニ心許ナイト私共考ヘルノデアリマスガ、サウ云フコトヲ御計畫ニナリマシタ當局トシテハ、ソレデ果シテドレダケノ成績ヲ擧ゲ得ルト云フ信念ヲ御持チニナツテ居ルノデアリマスカ、此ノ點ヲ一ツ能ク分リマサルヤウニ御話ヲ願ヒタイノデアリマス

○小金政府委員 産金額ヲ急激ニ増加致サセマス方法トシテ、今御指摘ニナリマシタヤウニ、未開發鑛區ノ開發ニ對シテ、國モ相當犧牲ヲ拂フベシト云フ御意見ハ、洵ニ御

尤デアリマシテ、其ノ點ニ付キマシテ出來ルダケノ御協力ヲ致スベク、大藏省トモ折衝ヲシツアルノデアリマス、只今御指摘ニナリマシタ、其ノ障礙ニナツテ居ル原因ノ一ツトシテ、資材ノ關係モ非常ニ窮シテ居ル、ソレカラ其ノ二トシテ、技術者或ハ勞働者ト云フヤウナモノ不足ニモ困ツテ居ル譯デアリマス、而シテ御尋ノ金増産協議會デモ設ケテ、實質上ノ産金額割當ヲ致シタイト言ハレタ大臣ノ御答辯ニ付テデアリマスルガ、是ハ昨年ノ八月頃カラ關係官廳ノ、當該係ノ人ヲ殆ド全部網羅致シマシテ、サウシテ相當數量ノ金ヲ出シテ居ラレル會社トカ、要スルニ産金業者ヲ多數御願ヲ致シマシテ、サウシテ官民ガ一堂ニ集ツテ協議ヲスル、斯ウ云フ組織デアリマス、是ハ産金業者ノ方カラ見レバ御遠慮ナク、獨リ商工省ニ對スル註文トカ、資材關係ノ不足ヲ懇ヘルト云フコトノミデハナク、或ハ税制ノ問題ニ付テ、或ハ資金ノ關係ニ付テ、十分ニ御意見ヲ陳述シテ貰ツテ、各當該官廳ニ分擔ヲシテ、此ノ産金ノ増加ニ協力スル、斯ウ云フ意味ノ協議會デアリマス、サウ云フ一ツノ協議會ヲ設ケマシテ、之ニ並行シテ鑛山局ノ産金課ヲ中心ニ致シマシテ、比較的大キナ數量ヲ出シテ居ラレル方

方ニ、本年ノ上期ニハ此ノ程度ノ金ヲ出シテ欲シイ、本年ノ下期ニハ此ノ程度ノ金ヲ是非出シテ欲シイト云フ意味ニ於テ、個別的ニ協議ヲ致シテ居リマス、ソレガ恐ラク大臣ガ實質上ノ割當制度ヲヤツテ成績ヲ擧ゲルト仰シヤツタ所ダト思ヒマスガ、是ハ産金法ナリ其ノ他ノ法令ノ根據ニ基イテ、金ノ増産ヲ命ズルコトガ宜シイノデアリマスガ、只今ノ所デハ増産命令ヲ出シマシテモ、法令ヲ制定致シマシタ當時トハ事情ヲ異ニシテ居リマシテ、假令命令ヲ出シテモ勞働者ガ非常ニ不足シテ居ル、殊ニ機械其ノ他ノ資材ガ非常ニ缺乏致シテ居リマスノデ、命令ガ出テモ一向實現出來ナイト云フヤウナ有様ニ鑑ミマシテ、寧ろ各方面ノ關係官廳ノ方ニ寄ツテ貰ツテ、色々ナ方面カラ協力スル、斯ウ云フ方ガ實績ガ擧ルノデアリマスカラ、其ノ方法ヲ執ツタ次第デアリマス、ソレデ茲ニ金ノ場合ニ於テ特ニ何時モ問題トナルノハ、鑛物ノ品位ガ低イ場合ニ於キマシテハ、如何ニ多量ノ鑛石ヲ處理致シマシテモ、産金額ガ比較ニナラヌノデアリマシテ、例ヘバ百万分ノ十ノ鑛石ヲ處理シテ得ル金ト、百万分ノ五ノ鑛石ヲ處理シテ得ル金トヲ比較致シマシテ、金トシテハ同量デアリマシテモ、處理鑛量ハ正ニ

倍ニナリマスノデ、非常ニ附帶的ノ關係ガ複雑錯綜シテ居リマス、サウ云フヤウナ關係ガアリマスガ、兎ニ角成ベク品位ヲ上ゲ、成ベク多クノ鑛量ヲ處理致シタイト考ヘテ居リマス、非常ニ其ノ點ハ難カシイノデアリマス、先程板谷委員長カラ御指摘ニナリマシタヤウニ、良イ部分ト云フモノハ長ク續カナイノデ、直グ貧鑛ニナツテシマフト云フ實情ニアリマス、ソコデ非常ナル苦心ヲ致シテ居リマスガ、實質上ノ金ノ產出高割當ヲヤルト云フヤウナ趣旨ハ、今申上デマシタヤウナ意味デ、大臣ハ申述べラレタノデアリマス

○東條委員 ソレカラ今一ツ伺ツテ置キタイノハ、先刻小見山君ノ御質疑ノ中ニモアツタヤウデアリマスルガ、自ラ採掘製鍊ノ仕事ヲスルダケノ力ノナイ者ガ持ツテ居リマスル鑛區、普通概念的ニ考ヘレバ、サウ云フモノガ假ニアルトスルナラバ、有力ナル産金業者ガ之ニ眼ヲ著ケテ、之ヲ買山ヲシテ開イテ行クデアラウ、斯ウ云フコトニモ考ヘラレルノデアリマス、所ガ探鑛ヲシテ、サウシテ山ヲ發見ヲシテ、出願ヲシテ權利ヲ持ツテ居ルト云フ人ハ、詰リ技術家ガ行ツテ實際ニ調ベテ見テ、是ハ全然無價值ノモノデアルト云フヤウナモノデモ、持ツテ居ル本人ハ

非常ナ價值ノアル寶物ノヤウニ考ヘテ居ル人多ク、隨テ是等ノ方カラ言ヘバ、有力ナル事業家モ有ラン限リ打遣ツテ置イテ、モウ税金ノ爲ニ競賣ニ附サレルヤウナ間際ニナラナケレバ買ハナイノデアル、苦心ヲシテ發見ヲシ、長イ間苦勞ヲシテ持ツテ居ルモノヲ、叩キ付ケ叩キ付ケテ買取ラウトスルノダト云フコトヲ申シマスケレドモ、必ズシモサウデハナイデアリマセウガ、自分ノ持ツテ居ル本人ノ希望ガ非常ニ大キイ爲ニ、多少價值アリト見ラレルモノデモ、中々容易ニ開發ヲスルヤウナ風ニ向イテ行カナイノガ多ク、斯ウ云フモノニ對シテ國ガ片ツ端カラドン／＼國ノ機關ヲ調ベテ、サウシテ實際ニ探鑛ヲスル價值ノアリモシナイヤウナモノデアリマスラバ、是ハ本人ガ何ボ大キナコトヲ言ツテ居リマシテモ、價值ノナイモノハ價值ガナイノデアリマスカラシテ、是ハ致方ガナイ、多少探鑛ノ價值アリト認メマスルモノニ對シテハ、本人ガ全然探鑛ヲスル力ノナイモノデアリマシテモ、何トカ國ガ探鑛ヲスルダケノ費用ヲ產金會社ヲ產金會社ノ手ヲ通ジテ出シテヤル、サウシテ探鑛ノ結果ニ於テ相當價值アルモノト致シマスナラバ、益、探鑛ヲ續ケテ行キ、或ル程度ノ鑛量計算ガ出來

ルヤウニナレバ、ソコノ山ノ値打ハ大體ドレダケアルカ、大體ノ評價モ付クノデアリマスカラ、其ノ場合ニ於テ事業計畫ヲ立テテ、新シク會社ガ出來ルノモ宜シカラウシ、或ハ有力ナル所ニ賣山ヲサセルモ宜シカラウ、若シ本人ガ大キナ夢ヲ見テ居ツテ應ジナイト云フヤウナ場合ニハ、強制的ニ應ゼシメル、評價ノ裁定ヲスルコトモ出來ルノデアリマス、斯ウ云フ仕事ヲ致シマスル以上ハ、澤山ヤツテ行ク上ニ於テハ、必ズ多少ノ危險ガ伴フ場合モアリマス、併シ又思ヒモ寄ラヌ良イモノヲ發見スル場合モアリマセウガ、隨テ產金會社ニ斯ウ云フ仕事ヲサス、詰リ自ラ進ンデ或ル設備ヲシ、或ル程度ニ仕事ヲ進メルダケノ力ヲ持タナイ者ノ持ツテ居リマスル鑛區ニ對シテモ、鑑定ノ結果探鑛ノ價值十分アリト思ハレルヤウナモノニハ、適當ナ方法ヲ以テ融資スルト云フコトガイケナケレバ、投資ノ形デモヤツテヤル、ソレハ探鑛ノ結果ニ依リ相當ノ評價ガ出來ル程度マデシテ、ソコデ始末ヲ付ケテヤルト云フヤウナ風ニ、積極的ニ仕事ヲスルコトガ必要ダト思フノデアリマス、若シ左様ナ場合、斯ウ云フ仕事ヲ致シマスル爲ニ、產金會社ガ缺損ヲ生ズル場合ニハ、政府ガ之ヲ補償スル制度ヲ設ケモテ宜シト思フ、

何カサウ云フ問題ニ付テノ御計畫デモアリマセウカ
○小金政府委員 金山ノ中デ自ラ探掘スル能力ト申シマスカ、手段ノナキ、又自分カラ其ノ山ノ鑛石ヲ製鍊スルコトモ出來ナイモノデアリナガラ、金鑛區ヲ澤山持ツテ居ル實情モ、仰セノ通りデアリマス、而シテ其ノ主觀的價值ニ付テ、客觀的價值カラ相當離レテ居ル場合モ多アルヤウニ、承知致シテ居リマス、國トシテハ斯ウ云フヤウナモノヲモ含メテ、全國ニ互ツテ地質鑛床調査ノ制度ヲ今持ツテ居リマス、サウシテ鑛山局ノ地質調査所ニ於テ、全國ニ涉ツテ地質鑛床調査ヲ管テモ計畫シテ、一部實施シタノデアリマス、非常ニ經費ノ削減ニ遭ヒマシテ、殆ド其ノ計畫ノ何分ノ一ト云フ程モ實施致シテ居リマセス、最近豫算ヲ稍増額シテ戴キマシテ、其ノ地質鑛床調査ヲ、國デ少シツツ殖シテヤリツツアリマスガ、到底是デハ足りマセス、併シ今幾ラ金ヲ國ガ積ンデモ、技術者ト力準備ト力云フ點ニ於キマシテ、急激ニ是ハ出來ナイ仕事デ、洵ニ國ノ基本的ノ事業ダト存ズルノデアリマスガ、今日ノ程度デハ極メテ不十分デアリマス、ソコデ今東條サンガ御指摘ニナリマシタヤウニ、日本產金振興株式會社ノ

ヤウナモノノ手ニ依ツテ、何等カモツト手取り早イ、サウシテ國ノ行フ地質鑛床調査ヨリモ、モツト簡單ナ、サウシテ實效的ナ、且ツ鑛山經營ノ基本ニナルヤウナ點ヲ調査サシタラ宜シイデハナイカト云フコトデアリマスガ、是ハ御尤デ、サウ云フ風ナ會社ノ事業ガ、計畫ノ中ヘ入ツテ居ルノデアリマス、唯是モ技術者ト力或ハ資材ト力云フヤウナ關係デ、十分ナコトハ出來マセヌガ、是ハ火ノ點イタ問題トシテ持込マレバ、出來ルダケ早ク探鑛ナリ、調査ナリ「ボーリング」ナリヲ自ラ會社ガヤルカ、或ハ手傳フカト云フヤウナコトヲシテ、早く探鑛ノ結果ヲ明ニシテ、サウシテ價值アルモノニ付テハ開發ノ緒ニ就カセル、是ハ大キナ有力ナ會社ガ買取ツテモ宜シイシ、資金ヲ融通シテ自立サセルコトモ、勿論出來ルノデアリマス、尙ホソレデモ主觀的價值ニ重キヲ置イテ中々手離サナイ、或ハ其ノ調査ヲモサセナイト云フヤウナ鑛區ガアルト致シマスレバ、ソレハ重要鑛物増產法ノ規定ヲ運用致シマシテ、強制的ニ開發ヲ致ス、斯ウ云フヤウナ建前デ來テ居リマス、サウ云フコトヲ言フナラバ、モツト金ガ餘計出サウデヤナイカト云フヤウナ疑問ガ、起ルカモ知レマセヌガ、是ハ中々手ヲ著ケマシ

テモ、一ツ坑道ヲ切ルニモ中々旨ク進マナイ、ソレカラ鑛物デ餘計掘出シテモ、ソレガ金ニナルマデニハ最少限度三、四位掛ルト云フヤウナ實情ニアリマスノデ、アレヤはヤ東條サンノ仰シヤツタヤウニ、有ユル手ヲ盡シテ先ヅ鑛物ノ増産ヲ圖ツテ、ソレカラ製鍊ヲ急ガス、斯ウ云フヤウナ方法ヲ講ズル積リデアリマス

○東條委員 今伺マシタ當局ト産金經營者トノ協議會ニ於キマシテ、産金業者ノ立場カラ斯ウ云フ風ニシテ呉レルナラバ、大イニ増産ノ助ケニナルト云フヤウナ色々ナ希望ガ出タコト思ヒマスガ、ソレヲ伺フコトガ出來マスレバ伺ヒタイ

○小金政府委員 ソレハ實ハ産金増産協議會ノ内容ニ互リマスノデ、此處デ私カラ申上ゲルコトハ如何カト思ヒマスガ、差支ナイ點ダケヲ申上ゲマス、先ヅ資材ノ供給ガ非常ニ足ラナイ、之ヲ何トカシテ呉レナケレバ、増産ニモ手ノ著ケヤウガナイト云フノガ一番多イヤウデアリマス、其ノ次ニ技術者トカ、或ハ熟練シタ鑛山ノ從業員ト云フヤウナ者ガ應召サレテ居リマス、之ヲ何トカ——勿論軍ノ計畫モアリマセウシ、國民最高ノ義務タル兵役義務デアリマスカラ、已ムヲ得ナイトシテモ、何トカ斯ウ云

フ方々ノ補充ガ出來ナイモノカト云フ意見ガアリマス、ソレカラ鐵道ノ貨車操リヲ、モウ少シ圓滑ニヤツテ戴キタイ、尙ホ其ノ外ニモ色々アリマスガ、餘リ巨細ニ互ル點ハ申上ゲテモ御參考ニナルマイト思ヒマスノデ、此ノ程度デ御諒承ヲ願ヒタイと思ヒマス

○東條委員 産金會社デ製鍊所ノ計畫ヲ進メラレテ居ルヤウデアリマスガ、其ノ計畫ノ具體案ニ付テ伺フコトガ出來レバ、出來ルダケ詳細ニ伺ヒタイと思ヒマス、今一ツハ貧鑛處理ニ付テ、是モ成ベク詳細ニ、ドノ程度ニドウ云フコトヲ、今實現シヨウト云フ計畫デアルカ、ソレヲ具體的伺ヒタイと思ヒマス

○小金政府委員 製鍊所ハ專ラ貧鑛ヲ主トシテ處理スル計畫デ、其ノ設置ノ案ヲ練リツツアルノデアリマス、是ハ昭和十四年度中ニ内地ニ於テ大體三箇所ヲ造ル豫定デアリマス、其ノ製鍊能力ハ大體二百五十吨位ノ所ガ手頃デハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、尙ホ之ヲ設置スル場所トカ、其ノ規模等ニ付テハ、今研究中デアリマスガ、年度勿々實施ニ取掛リタイ積リデゴザイマス、ソレカラ貧鑛處理ニ付テハ、先ヅ熔鑛爐ニ入レ得ル程度ニシマシテ、鑛石ヲ選鑛

致スヨリ外ナカラウト存ジマス、サウシマスト「コスト」ガ掛ツテ、ソレニ對シテ損失ガ出ルノデハナイカト思ツテ居リマスガ、其ノ損失ニ付テハ會社自ラ負擔シ得ル部分モアリマセウガ、ソレ以上ノ所ハ此ノ計畫ノ進捗ニ隨ヒマシテ、政府ニ於テモ考ヘナケレバイカスト思ヒマス

○東條委員 商工大藏兩大臣ニ對スル事項ハ留保シテ、此ノ程度デ宜シウゴザイマス

○板谷委員長 一寸政府委員ニ伺ヒマスガ、今御話ノ貧鑛處理ニ付テ選鑛場ヲ設ケルト云フコトハ、ドウ云フ組織デ御設ケナルノデスカ、詰リ山元ニ各會社ガ選鑛場ヲ置イテ、ソレニ對スル所ノ損失ヲ補償スルト云フノデスカ

○小金政府委員 是ハ日本産金振興株式會社ガ内地ノ産金地帯ニ、自ラ製鍊所ヲ設置スルト云フ趣旨デアリマス

○板谷委員長 モウ一點伺ヒマスガ、鐵道運賃ヲ低減スル計畫ハ、ドンナ風ニ進ンデ居リマスカ

○小金政府委員 金鑛ニ付キマシテハ百万分ノ五以下ノ品位ノモノニ付テハ、所定ノ運賃ノ五割引ニナツテ居リマス、私共ノ希望ト致シマシテハ、モウ少シ品位ノ良イモノマデ何トカシテ欲シイト云フ希望ヲ、鐵

道當局ニ出シテ居リマス、尙ホ百万分ノ五位カラ下ノモノニ付テハ五割引ト言ハズ、モウ少シ奮發シテ割引ガ願ヘヌドラウカト云フコトデ、交渉致シテ居リマスガ、鐵道省ガ中々應ジテ呉レナイト云フヤウナ實情デゴザイマス

○山崎委員 茲ニ資料ヲ戴イテ居リマス、昭和十三年度金鑛採鑛獎勵金交付先一覽表ト云フノガアリマス、可ナリノ獎勵金ヲ出シテ居レル所ノ會社ガ出テ居リマス、此ノ總金額ハドレダケ出シテ居レマス、同時ニ政府ガ獎勵金ヲ出シテ居レル所期ノ成績ガ、擧ツテ居ルカドウカト云フコトモ御聽キシタイ、外ニ個人九十五名、是ハドウ云フヤウナ形ノ個人デアアルカト云フコトモ、御聽キシタイと思ヒマス、モウ一ツハ日本産金株式會社ノ株主名簿ト云フノガアリマス、此ノ株主名簿ニハ各方面ノ方々ガ付イテ居リマス、是ハドウ云フヤウナ關係デアアルカ、此ノ點一應御伺シタイ

○小金政府委員 御手許ニ差上ゲマシタ昭和十三年度金鑛採鑛獎勵金交付先一覽表ニ掲ゲテアリマス、會社ノ名前ハ、茲ニ列舉シタ通りデアリマシテ、此ノ外ニ個人ノ名前ニ於テ御申請ガアツテ、ソレニ採鑛獎勵金ヲ交付シタ方ガ九十五人ト云フ意味デア

リマス、此ノ金額ハ昭和十三年度ニ於テハ百八十万圓デゴザイマス、此ノ成績ハマダハツキリトハ申上ダラレマセスガ、年度匆々カラ手ヲ著ケテ、成ベク早く交付シタノデアリマシテ、早イモノハ半年以上既ニ經過シテ居リマシテ、相當ナ成績ヲ擧ゲテ居リマス、此ノ探鑛シタ結果ハ皆報告スルコトニ相成ツテ居リマシテ、其ノ報告等ヲ徵シマス、ト極押坑道トカ、或ハ新ナル坑道ヲ造ツテ、鑛脈ヲ探スト云フヤウナ點ニ於テ、相當ナル成績ヲ擧ゲテ居リマス、日本産金振興株式會社ノ株主名簿ニ付テデアリマスガ、是ハ他ノ特殊會社ト趣ヲ異ニ致シマシテ、年四分ノ割合マデ政府ガ配當保證ヲスルト云フヤウナ建前ヲ採ツタノデアリマス、ソレハ何故カト申シマス、ト成ベク安イ資金ヲ産金業者ニ貸付ケルト云フ意味ニ於キマシテ、配當ヲ高く保證致シマス、ト勢ヒ産金業者ノ方ニ行ク資金ノ「コスト」ガ、上リハシナイカト云フヤウナコトカラ、斯ウ云フ風ナ四分ト云フコトニ置イタノデアリマス、隨テ此ノ株式ノ募集ハ、公募ヲ致シマシタケレドモ、成ベク産金業者ニ多ク株ヲ持ツテ戴イテ、サウシテ産金業者ニ出

來ルダケ此ノ會社ヲ利用シテ戴クト云フ趣旨デ作ツタノデアリマスガ、其ノ間日本ノ産金事業ニ協力シタイト云フ熱意ヲ持タレタ個人其ノ他ガ御申込ミニナリマシタノデ、公募ノ中ニサウ云フ方々ガ入ツテ居ラレル譯デアリマス

○山崎委員 次ニ我國ノ現状ニ取りマシテ、金ノ最モ大切ダト云フコトヲ先輩委員諸君カラ縷々聞カサレマシタガ、私共モ本當ニサウダト思ヒマス、ソコデ私ハ昨年滿洲國、朝鮮、アノ方面ヲ視察シテ參リマシタガ、其ノ時ニ見聞致シマス所ニ依リマス、ト朝鮮ノ方面デハ隨分アチコチノ山ガ掘ラレテ、砂金ノ採取ガヤラレテ居リマス、ソレカラ到ル所ノ一寸シタ谷間デモ、朝鮮人ガ數名出マシテ砂金ノ採取ヲヤツテ居ルノデアリマス、是等ノ朝鮮ニ於ケル金採取ニ對シマスル所ノ成績ト將來ノ見透シ、ソレカラ滿洲國デハ佳木斯方面、ソレカラ綏遠方面デアリマスガ、相當奥地ニ入ツタ方面デアリマスガ、其ノ方面デハ軍ノ幹部ノ方ノ話ニ依ルト、行軍或ハ匪賊討伐ニ行ツタ場合ニ、穿イテ居ル所ノ卷脚絆ニ砂金ガ付イテ居ルト云フヤウナ、オ伽話ニ聞クヤウナ話モ聞イテ居リマスガ、併シナガラ一ツノ金ナントカト云フヤウナ名稱ノ附ク山々ニハ、大抵金ガ出ルト云フヤウナコトモ聞カサレテ歸リマシタガ、滿洲國ニ於キマシテ

ノ金ノ產出狀態ハドウデアルカ、ソレカラ政府ニ於キマシテハ朝鮮、滿洲ニ對シマスル金ノ蒐集ニ付キマシテハ、ドウ云フヤウナ御計畫ヲ立テテ居リマスガ、御聞カセガ願ヒタイト思ヒマス

○小金政府委員 朝鮮ニ於キマシテハ産金ノ數量ハ昭和十三年ハ前年ニ比較シテ相當急激ニ増加致シテ居リマス、併シ是モ内地ト同ジヤウナ理由、竝ニ北鮮ニ於ケル夏ノ長イ雨等ノ關係デ、前半期ハ案外惡イノデアリマス、後半期ニズツト盛返シテ居リマス、尙ホ滿洲國ノ産金ニ付キマシテハ、今御話ノ興安嶺方面ニハ砂金ガ、非常ニアル、其ノ他ノ地方、例ヘバ間島方面ニモアルト云フ御話ハ聞イテ居リマスガ、是ハ滿洲國ガ金ノ増産ヲ獎勵シツツアルノデアリマシテ、滿洲國ニ於ケル産金ヲ如何ニ處理スルカハ、是ハ日滿兩國ト色々ナ經濟上ノ措置ヲスル一項目トシテ入ツテ居ルト存ジマス、私ハ其ノ點ハ此處デ詳シク申上ゲルコトガ出來マセスガ、尙ホ御必要ナラバ關係方面カラ御聴取ヲ願ヒマス

○山崎委員 今ノ御説明ハ又他ノ機會ニ御聴キスルコトニ致シマシテ、先程カラ他ノ委員ノ方々ノ御質疑ノ際ニ承ツテ居リマスレバ、勞働不足ヲ來シテ所期ノ目的ヲ達成スルコトニ困難ヲシテ居ルト云フコトヲ聞カサレマシタガ、成程私共モサウダト存ジマスガ、然ラバ鑛山局ニ於キマシテハ其ノ勞働對策ニ對シマシテ、將來ニ對スル何カノ腹案ヲ御持チデナケレバナラヌト思ヒマスガ、ドウ云フヤウナ腹案ヲ持ツテ居ラレルカ、伺ヒマス

○小金政府委員 勞働力ノ補給竝ニ此ノ勞働力ヲ新ニ得ル問題ニ付キマシテハ、金ニ限ラズ鑛山ノ開發即チ鑛物ノ増産計畫ヲ爲ス場合ニ於キマシテハ、資材、技術者竝ニ勞働者ト云フモノヲ必ズ明ニ致シマシテ、勞働方面ニ關シテハ之ヲ直チニ厚生省ニ通ジマシテ、兩者一體トナツテ其ノ補給竝ニ補充等ニ付テ、十分ナル協調出來ルダケノ努力ヲ致シツツアル譯デアリマス

○山崎委員 人ノ問題ノコトニ付キマスレバ、大抵厚生省ノ方ニ持ツテ行カレル風ナノデスガ、厚生省ガ人ヲ產出スノデハアリマセヌ、直接其ノ仕事ノ任ニ當ツテ居ル方面ガ人的問題ヲドウスルカト云フコトヲ、眞剣ニ考ヘナケレバイカヌト思ヒマス、俺達ノ方ハ事業ヲ進メサセルノガ目的デアル、是ハ日本ノ古來ノ觀念ト致シマシテ、今マデハ働ク場所ガアレバ、幾ラモソコニ人ガ集ツテ來タ、併シ時代ハ轉換致シマシテ、

先ヅ事業ヲ起スノニハ人ヲ考ヘナケレバイケ
ナイト云フヤウナ狀態ニナリマシタノデ、
少クトモ人ノ問題ニ對シマシテハ自分自身
ノ方面デ考ヘテ行クト云フヤウナ計畫ヲ立
テラレテ、事業ヲ進メラレネバ大變間違ヲ
來スト云フヤウナコトガ考ヘラレマス、此
ノ點ハ勿論現在厚生省ガアリマスノデ、厚
生省ト十分打合せガゴザイマセウケレドモ、
鑛山局ノ方デモ特ニ鑛山ニ對スル所ノ専門
的ノ人間ヲ要スルノデゴザイマスカラ、自
ラ人ノ問題ヲ考ヘテ行クト云フコトヲシテ
戴キタイト思ヒマス、ソコデモウ一言御尋
致シマスガ、先程モ中上ガマシタヤウニ金
ハ大變大切ダ、國際收支ノ上カラ品物ヲ買
フニハ何トシテモ金デ買ハナケレバナラナ
イト云フヤウナ現狀デゴザイマスノデ、ソ
レ程金ガ大切デゴザイマスノデ、何ヲ措イ
テモ金ノ產出ニ力ヲ傾注シナケレバイカス
ト思ヒマス、私ハ此ノ時ニ鑛山局ハ鐵道省
アタリト協議ヲ致シマシテ、今鐵道モ交通
上カラ大變大切デゴザイマスケレドモ、先
ヅ其ノ鐵道ノ「レール」ヲ掘出スノハ、ヤハリ
工夫ナノデス、隧道トカ或ハ鐵道ノ敷設ニ働
イテ居ル人々ヲ、暫シ金ノ產出ノ目的ヲ達
スル爲ニ借りテ來ルト云フヤウナコトモ、
交渉スル必要ガ大イニアルト思フ、是ハ政

府委員ハ笑ツテ居リマスケレドモ、斷ジテ
笑ヒ事デハナイ、斯ウ云フコトハモウ少シ
現時ノ狀態ヲ考ヘテ、眞劍ニ考ヘテ貰フベ
キデヤナイカト思フ、是ハ御答辯ハ戴キマ
セス、私一ツ例ヲ申上ダタヤウナ工合デス
ケレドモ、萬事サウ云フヤウナ工合ニ、各
方面ニ手ヲ廻シテ、目的ヲ達スルヤウニ進
ンデ貰ハナケレバイカスト思ヒマス

○宇賀委員 商工省ノ當事者ノ方ガオ出デ
ニナリマシタカラ、先程此處デ臨時資金調
整法ノ問題ハ後廻シト云フコトニナリマシ
タケレドモ、皆サン如何デセウ、ソレニ關
聯シテ一寸質問シタイノデスガ……

○板谷委員長 皆サンニ異議ガナケレバ……
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○板谷委員長 ソレデハオヤリ下サイ

○宇賀委員 最初ニ商工省當局ノ御方ニ御
伺シタイ點ハ、昨年ノ十一月二十一日ニ資
金調整法ノ認可ヲ得テ、東京電燈會社ト古河
電氣工業ノ「コンビ」デ、日本輕金屬株式會
社ト云フ資本金一億圓、同所要資金一億五
千萬圓、生産能力「アルミニウム」五萬噸
「アルミナ」十二萬噸、製法ハ「バイヤー」法、
出資者ハ東電二五%、古河同ジク二五%、既
設「アルミニウム」會社ノ六社デ二五%、「ア
ルミ」加工業者ガ残りノ二五%、其ノ原料ハ

「アルミニウム」會社ガ輸入シテ居ルノト同
ジ南洋ノ「ピンタン」島ノ「ボーキサイト」ヲ
原料トシテ、「アルミ」ノ計畫ヲ致シマシテ、
昭和十六年ノ三月ニ出來上ル、斯ウ云フヤ
ウナ御認可ヲ御與ヘニナリマシテ、ソレガ
爲ニ業界ニ多大ノ波紋ト混亂ヲ起シ、却テ
是ガ爲ニ折角今日マデ順調ニ發達シテ來マ
シタ所ノ、此ノ「アルミニウム」業界ノ發達
ヲ、一時阻碍スルヤウナ疑問ヲ懷カシメタ
ト云フコトヲ新聞紙上デ承リマシテ、私ハ
此ノ點ニ付テ尙ホ細カイコトヲ一々聽イデ
行カウト思ヒマス、先ヅソレト同時ニ三井
系ノ東洋「アルミニウム」株式會社ニモ、同
時ニ設立ノ認可ヲ與ヘタト云フコトデアリ
マスガ、新聞紙ノ傳フル所ニ依リマスト、
日本輕金屬株式會社ト云フモノハ、將來「ア
ルミニウム」ノ統一ヲスル爲ニ國策會社ニ
ナツテ「アルミニウム」事業統制ノ母體ニス
ル、既設會社ノ増産ハ一應之ニ掣肘ヲ加ヘ
テ、サウシテ此ノ會社ダケニ限りマシテ、
偏重致シマシテ、他ノ會社ノ増産ヲ抑ヘル
ノダト云フヤウナ記事ヲ見マシタガ、是ハ
一體ドウ云フモノデアリマセウカ、御差支
ナケレバ御許可ニナツタ理由ヲ承リタイノ
デアリマス、元來輕金屬ハ御承知ノ通り洵
ニ大事ナモノデゴザイマシテ、今日ノ時局

カラ見マスレバ「アルミニウム」ト云フ、此
ノ位大切ナモノハアリマセス、銅ノ代リニ
モナレバ、鐵ノ代リニモナル、軍用品トシテ
飛行機其ノ他ニ缺クベカラザル品物デアリ
マスシ、日夜既存ノ各會社ト云フモノハ増
産ニ努力致シテ居ルノデアリマス、ソレニ
モ拘ラズ、商工當局ノヤリ方ニ依ツテ、一
時デモ是ガ發展ノ阻碍ヲサレルト云フヤウ
ナ結果ヲ來ストスルナラバ、是ハ中々大キ
ナコトグラウト思ハレルノデアリマス、先
ヅ最初ニ設立ニナツタノハ、ドウ云フ事情
デ設立ニナツタノカ、既存ノ會社ト云フモ
ノハ、増産スル能力ガナイト御認メニナツ
タノカ、既存ノ會社ニ増産シロト云フコト
ヲ申付ケタケレドモ、既存會社ノ御方ガ金
ガナイトカ、或ハ腕ガナイトカ、或ハ今言
フ通り資材其ノ他職工等ガ得ラレナイカラ
ト云フノデ應ジナカツタト云フノデア
ルカ、一應ソコヲ御伺致シタイ

〔委員長退席、森委員長代理著席〕

○東政府委員 昨年ノ十一月ニ日本輕金
屬、東洋アルミ兩會社ニ「アルミニウム」製
造ノ目的ヲ持ツタ會社設立ヲ、資金調整ノ
上デ許可致シマシタノハ事實デアリマス、
之ヲ許可致シマシタ理由ト致シマシテハ、
御承知ノ通り日本ハ現在「アルミニウム」ノ

需要が非常ニ殖エタニ拘ラズ、其ノ生産力
ガ之ニ伴ハナイノデアリマシテ、現ニ昭和
十三年ノ如キモ、需要ノ五〇%以上ヲ輸入
ニ仰イデ居ルヤウナ状態デアリマス、隨ヒ
シマテ「アルミニウム」ノ急速ナ増産ト云フ
コトハ、差迫ツタ必要ニ迫ラレテ居ルノデ
ゴザイマス、此ノ日本輕金屬ヲ認可致シマ
シタノハ、昨年ノ十一月デアリマシタガ、
此ノ計畫ガ出來マシテ、其ノ計畫ヲ商工省
ノ方ニ持ツテ參リマシテ、色々相談ヲ始メ
マシタノハ、昨年ノ三月頃デアツタノデア
リマス、當時ノ事情ト致シマシテハ、只今
申上ゲマシタヤウニ「アルミニウム」ノ需要
ハ急激ニ増加スル、而モ一方生産ノ増加ハ
之ニ伴ハナイ事情デアリマシタノデ、若シ
「アルミニウム」ノ製造ヲスルト云フ計畫ヲ
樹テル者ガアリ、其ノ計畫ガ妥當デアリマ
スナラバ、何人タルヲ問ハズ之ヲ實現サセ
タイト云フ希望ヲ、商工省ハ勿論關係各省
皆持ツテ居ツタノデアリマス、ソコヘ此ノ
計畫ガ出テ參ツタノデアリマスカラ、其ノ
計畫ガ果シテ實現性ガアルカ、資金其ノ他
ノ點、電力ノ點、原料ノ點、技術ノ點等ニ
付テ色々検討ヲ遂ゲマシタ結果、是ハ適當
デアルト認メマシタノデ、之ヲ許可致シタ
次第デアリマス

○宇賀委員 私ハ此處デ數量ヲ申上ゲタイ
ガ、「アルミニウム」モヤハリ物動計畫ノ十
何品カノ中ニ入ツテ居ツテ、此處デ數量ヲ
申上ゲルコトガ出來ナイヲ洵ニ遺憾ト思
ヒスガ、私ノ承知致シテ居リマス範圍ニ於
キマシテハ、日本デハ今ノ所「アルミニウム」
ヲ製造シテ居ル會社ト云フモノハ、私ノ同
僚ノ古田忠徳君ガ日滿「アルミニウム」ト
云フ、六千噸カ八千噸マデノ製造能力ノアル
會社ヲ經營シテ居リマス、ソレガ一ツ、其
ノ外ニ日本「アルミニウム」ト云フノガ、臺灣
ノ高雄ニ工場ヲ持チマシテ、是ガ日本輕金屬
會社トソツクリピンカラキリマデ同ジデア
リマス、唯「スケール」ガ違フト云フダケ
デ、六千噸乃至八千噸ノ一箇年ノ製造能力
ヲ持ツテ、之ガ製造ニ營ンデ居ル、其ノ外
森島利君ノ日本電工株式會社ト云フノガア
リマシテ、是ガ一番日本デ早く「アルミニ
ウム」工業ニ從事シタ會社デアリマシテ、
一万二千噸位ノ製造能力ヲ持ツテヤツテ居
リマスガ、原料其ノ他ハ御買ヒニナツテ居
ルト思ヒマスガ、大體外國ノ「ボーキサイト」
ヲ一部入手シ、一部内地ニ於ケル所ノ礬土
頁岩ヲ使ツテ、サウシテ此ノ工場ヲヤツテ
居ルヤウデアリマス、其ノ他日本曹達ノ一
部デモ「アルミニウム」工業ヲヤツテ居リマ

スシ、住友「アルミニウム」ニ於テモ「アルミニウ
ム」ノ製造ニ從事シテ居ル、ソレカラ昭和
十二年ノ十二月ニ設立サレマシタ東北振興
「アルミニウム」會社ト云フノガゴザイマシ
テ、是ハ工事中デ仕事ハヤツテ居ナイダラ
ウト思ハレマスガ、之ヲ見マスルト、集メ
マシテ大體ノ公稱製造能力ハ四万八千位ノ
モノト思ハレマスガ、是等ノ既設竝ニ目下
設立ニ從事シテ居ル所ノ製造能力ト云フモ
ノハ、一體十二年ニ幾ラ製造サレタカ十三
年ニ幾ラ製造サレタカ、是ハ私ハ存ジマセ
ヌ、最モヨウ知ツテ居ルノハ商工當局ノ御
方ダト思ヒマス、ソレデ私ハ一體日本「ア
ルミニウム」會社ヲ設立スル場合ニ、先ヅ
最初ニ御聽キシタイノデスガ、日本輕金屬
會社ト云フモノヲ、將來統制スル場合ニ於
テハ、母體ニスルノダト云フヤウナ御含ミ
ヲ與ヘテ認可シタモノデアリマセウカ、サ
ウデナイモノデアリマセウカ、ソレヲ先ヅ
伺ヒタイ

○東政府委員 日本輕金屬ハ「アルミニウ
ム」製造會社ノ一ツト致シマシテ、之ヲ許可
致シタノデアリマシテ、之ヲ將來統制ノ母體
ニスルノデアルトカ、或ハ之ヲ國策會社ト
シテ扱フノデアルトカ云フコトハ、未ダ會
テ政府トシテハ決メタコトハゴザイマセヌ

○宇賀委員 併シナガラ新聞ニサウ云フ風
ニ傳ヘラレテ居ルノデ、是ハ餘程世間ノ人
ハ御間違ニナルドラウト思フ、先程モ私ガ
申シマス通り、東電ガ二五%、古河ガ二五
%、既設會社六社ニ於テ二五%持テト云
フヤウナコトヲ考ヘラレタガ、既設會社ハ
「ボーイコット」シテ、此ノ會社ノ株ハ持タヌト
云フコトヲ發表シテ居ルノデアリマス、サ
ウスルト、此ノ會社ハ資金調整法ニ依ツテ
認可ヲ得ル時ニ、インチキノコトヲ書イテ
サウシテ當局ヲ欺イテ認可ヲ取ツタモノト
思ツテ差支ナイデアリマセカウ

○東政府委員 日本輕金屬ハ其ノ規模ガ相
當大キイノデアリマス、是ガ計畫通り完成
致シマシテ、製品ガ出ルコトニナリマスレ
バ、日本ノ「アルミニウム」工業界ニ相當ノ
影響ガアルデアラウト云フコトハ、初カラ
政府當局ト致シマシテハ豫想ヲシテ居ツタ
譯デアリマス、隨ヒマシテ此ノ會社ガ計畫
通り行キマシテ、製品ガ出マス場合ニ、既
設ノ會社ト十分ニ提携ヲシテ、調和セシメテ
行クコトニ付テ十分考ヘナケレバナラスト、
斯ウ初カラ思ツテ居リマシタ譯デアリマス、
株ノ問題ニ付テ今御話ガアリマシタガ、
是ハ當初此ノ會社ヲ計畫シタ人達ノ間デ
ハ、既設ノ會社ニ株ヲ持ツテ貰ヒタイト云フ

希望ハ持ツテ居リマセヌデシタ、併シナガラ政府ト致シマシテ——是ハ商工省ダケデハアリマセヌ、企畫院、陸海軍、其ノ他關係各省ノ間デ相談致シマシタ結果、是ハ兎ニ角規模ニ於テ非常ニ大キナモノデアルカラシテ、此ノ株ヲ既設ノ會社ニモ、若シ希望ガアルナラバ持ツテ貰ツタラドウダラウ、サウシテ資本的ニ多少トモ關係ヲ付ケテ、相援ケ合ツテヤツテ行クト云フ風ニシタラドウダラウト云フ話ガゴザイマシテ、ソレハ宜カラウデヤナイカ、若シ既設會社ノ人達ガ株ヲ持ツト云フ希望ガアツタラ、持タセルコトニシタラ宜カラウト云フコトヲ、寧ロ政府側カラ日本金屬ノ計畫者ニ向ツテ——

若シ既設ノ會社デ諸君ノ會社ノ株ヲ持タイト云フ人ガアツタラ、持タシタラドウダト云フコトヲ話シマシタ所ガ、ソレハ結構ダ、持タイト云フ希望者ガアレバ持タイト云フコトヲ話シマシタ、將來既設ノ會社ニ對シテ、ドウデアラウ、携シテ行ツテ貰ハシナラヌカラ、資本的ニモ關聯ヲ付ケテ置イタ方ガ宜イデヤナイカ、株ヲ持ツタラドウダト云フ話ヲシタノデアリマス、所ガ甚ダ遺憾ナコトデアリマスガ、何カ誤解ガアリマシタノカドウカ知リマセ

ヌガ、既設ノ會社全部デモアリマセヌガ、持タイト云フヤウナ意思ヲ表明シタコトモ是ハ事實デアリマス、但シ其ノ時ニモ私ハ念ノ爲ニ聞イテ置イタノデアリマスガ、持タヌト云フ意味ハ、日本輕金屬會社ニ對シテ反對デアルカラ持タヌト云フ意味デアリマス、ソレトモ事實金ガナイカラ持タヌト云フ意味デアリマス、カト云フコトヲ念ヲ押シマシタ、所ガ既設ノ會社ノ人達ハ、決シテ反對ダカラ持タヌト云フ意味デヤアリマセヌ、自分達モ各々増産計畫ヲ持ツテ居ルノデ、此ノ際非常ニ金ガ要ルカラ、新シキ會社ノ株ヲ持ツコトハ、此ノ際御斷リシタイト云フ意味デアルト云フコトデアリマシテ、ソレナラバ是非持テト云フコトデモナカラウカラ、支障モナカラウト斯ウ云フ話デアリマス、尙ホ既設ノ會社ノ中デモ、之ヲ持タウト云フ會社モアルヤウニ聞イテ居リマス

○宇賀委員 私ハモウ一ツ私ノ論旨ヲ進メテ行ク前提トシテ御聽キ致シタイコトガゴザイマス、六社ノ製造能力ガ四万八千匁アルカ、四万六千匁アルカ、ハツキリサウシタコトハ覺エマセヌガ、會社ノ將來ノ増設見込ハ、十一万五千匁内外ノ擴張ノ目論見ヲ持ツテ居ルト云フコトデアリマス、其ノ

點ニ付テ商工當局ハ、ドノ程度ノ擴張目論見ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ、豫メ御承知ニナツテ居リマス、ソレヲ伺ヒタイ

○東政府委員 既設ノ會社ニ於キマシテ、日本輕金屬ガ資金調整デ許可ニナリマシテカラ後、最近増産ノ計畫ヲ樹テマシテ、資金調整ノ認可ノ申請ヲシテ參ツテ居ルノガ相當ゴザイマス、其ノ數量ニ付キマシテハ、一寸ハツキリ此處デ申上ゲニクイノデアリマスガ、相當ノ計畫ヲ致シテ居ルノデアリマス、此ノ計畫ニ付キマシテ目下之ヲ審査致シテ居リマス、適當ナ計畫デアリマシナラバ、勿論之ヲ許可スル方針デアリマシ

○宇賀委員 日本「アルミ」ハ一千万圓ノ會社ガ三千万圓ニ増資ラシテ、サウシテ此ノ生産増加ヲ圖ツタノハ、恐ラク是ハ此ノ十一月二十幾日ヨリカモズツト前ニ御許可ニナツタト思ヒマス、日滿「アルミ」ガヤハリ増産計畫ニ著手シテ、サウシテ其ノ認可ヲ得タノモ、餘程前カラダト思ヒマスガ、只今承リマス、御許可ニナツテカラ後デ増産計畫ガアツタヤウナ風ニ承リマスルガ、私共ノ聞イテ居ル所デハ少シ違フヤウデアリマス、唯此處デ能力ガ幾ラアルカト云フコトハ、アナタ仰シヤツテモ宜イト思フ、現實ノ能力ハ是ダケデ、現實ニ是レダケ生

産サレテ居ルト云フコトハ、是ハ只今言ヘナイ事項ダラウト思ヒマス、ソレヲ聽カウトハ思ヒマセヌ

○東政府委員 日本「アルミ」ニ致シマシテモ、住友「アルミ」ニ致シマシテモ、度々増産計畫ヲ致シテ居リマス、只今御話ノ日本「アルミ」ノ第一次ノ増産計畫、即チ第二次ノ計畫デアリマスガ、ソレデ之ヲ許可致シマシタノハ昨年一月デアリマス、ソレカラ住友「アルミ」ハ、初メ極ク少量ノ生産能力シカナカツタノデアリマスガ、之ヲ第一次ノ増産計畫ヲ致シマシテ、之ヲ許可致シマシタノハ昨年六月デアリマス、ソレハ目下工事中デアリマシテ、近ク完成スルト思ヒマス、其ノ後更ニ第二次ノ増産計畫ヲ致シマシテ、正式ニ商工省ヘ出シテ參リマシタノハ昨年十一月デアリマス

○宇賀委員 日滿「アルミ」ガ増産計畫ヲ立テマシタノハ何時デスカ

○東政府委員 日滿「アルミ」ハ増産計畫ノ持ツテ居ルト云フコトハ聽イテ居リマスケレドモ、マダ今日資金調整ノ認可申請ハ正式ニ致シテ居リマセヌ

○宇賀委員 日滿「アルミ」ガ只今幾ラノ能力ヲ持ツテ居ルカト云フコトハ言ヘマセヌカ

○東政府委員 ソレハ申上ゲテ宜イト思ヒマス、公稱能力八千應ダト思ヒマス

○宇賀委員 サウスルト日本輕金屬會社ガ出來上ツタ、資金調整法ニ依ツテ認可ヲ經テ、日本輕金屬工業組合ガ既ニ設立サレテ、互ヒノ利益ノ増進ト斯界ノ發展ヲ期スル爲ニ、商工省ニ御届ニナツタ組合ガ出來テ居ルデハナイカ、サウ云フ組合ガ出來テ居ルニ拘ラズ、何故既設ノ會社ニ大キナ影響ノアル、斯ウ云フドエライ計畫ヲ認可スルノニ、其ノ人達ニ御相談ナサラナカツタノカ、ソレハ如何デアリマスカ

○東政府委員 是ハ先程モ申上ゲマシタヤウニ、日本輕金屬ガ其ノ計畫ヲ持ツテ來マシテ、非公式ニ相談ヲ始メタノハ昨年ノ三月頃カラデアリマス、其ノ當時ノ事情ト致シマシテハ、先程申上ゲマシタ日本「アルミ」ノ第一次増産計畫、ソレカラ住友「アルミ」ノ第一次増産計畫ト云フヤウナモノガ、或ハ計畫ガ既ニ定ツテ居リ、或ハ計畫サレツツアツタ際デアリマス、其ノ外ニハ、當時社内ニ於キマシテハ、或ハ増産計畫ガアツタノカトモ思ヒマスケレドモ、實ハソレ以上更ニ大規模ナ増産計畫ト云フモノハ、マダ形ニ現ハレテ居リマセヌデシタ、ソレ

デ實ハ其ノ當時、是ハ公式ニ命令ヲ出シタトカ、或ハ公式ニ増産ヲ慫慂シタトカ云フコトハ致シテ居リマセヌケレドモ、當時殊ニ陸海軍ト致シマシテハ

〔森委員長代理退席、板谷委員長著席〕

非常ニ「アルミニウム」ノ不足ト云フコトヲ心配致シマシテ、有力ナ「アルミニウム」會社ニ對シマシテ、色々ナ機會ニ増産ヲヤラヌカト云フヤウナコトヲ慫慂シタト聽イテ居リマス、商工省ト致シマシテモ、色々ナ機會ニサウ云フコトハ慫慂モ致シタ管デアリマス、併シナガラ各社色々ノ事情ガアリマシテ、其ノ當時ハツキリシタ増産計畫モアリマセヌデシタ、ドウシテモ日本輕金屬ノ計畫ノヤウナモノガ出テ來タ以上ハ、之ヲ實現サセナケレバナライ、實現サセナケレバ、日本「アルミニウム」ノ増産計畫ト云フモノハ、急速ニ實現シナイト云フ實情ニアリマシタノデ、關係各省ノ間ニモ色々其ノ計畫ニ付テ相談ヲシテ、モウ大分前カラ許可スル方針デ參ツテ居ツタノデアリマス、之ヲ許可スルニ付キマシテ、組合ニ何故相談ヲシナカツタカト云フ御尋デアリマスケレドモ、サウ云フ場合ニ必ズシモ組合ニ相談シナケレバナラヌモノトモ思ツテ居リマセヌシ、又サウ云フ計畫ガアルト云

フコトニ付テハ、モウ既設ノ「アルミニウム」會社ハ悉ク之ヲ承知シテ居ツタ管デアリマスノデ、特ニ報告スル必要ハナカツタモノト思ツテ居リマス

○宇賀委員 所ガ日本「アルミニウム」工業組合長デアツテ、同時ニ日本電工ノ社長デアル所ノ森龜昶君ノ御話ニ依リマス、十一月四日ニ官民合同ノ「アルミニウム」懇談會ガ開カレタ席上デ「アルミニウム」ノ生産擴張ニ關スル意見ノ交換ガ先ヅ當然行ハルベキデアツタ、各既設會社ハ増産ノ話ヲシヨウト腹ノ中ニ思ツテ會ニ臨ンダ、所ガ其ノ時ノ當局者ノ御方ハ、特ニ話題ヲ決メテ、既存能力ノ最大限度發揮ノ爲ニ障碍トナルベキ諸條件ノ除去ト云フコトダケニ意見ノ交換ヲ限定シテ、増産トカ何トカ云フコトハ、話サウト思ツタニモ拘ラズ、話サセナカツタサウデアアル、是ハ陳情書ニモ書イテアル、恐ラク商工大臣ニモ出シタ陳情書ダラウト思ヒマスガ、斯ウ云フ文書ガアリマス、サウスルト是ハ一體商工當局ハドウ云フ風ニ御覽ニナルカ

○東政府委員 其ノ懇談會ニハ、實ハ私モ初メ一寸顔ヲ出シマシタガ、他ニ已ムヲ得ナイ用事ガアリマシテ中座致シマシタノデ、今御話ノヤウナ話題ノ限定ト云フヤウナコ

トガアリマシタカドウカ、私ハ承知ヲ致シテ居リマセヌ、併シナガラ若シアツタト致シマシテモ、私思ヒマスノニ、ソレハ何モ既設ノ會社ガ増産計畫ヲヤツテハイカストカ、サウ云フ話ヲシテハイカストカ云フ問題デハナクシテ、差當ツテ今アル設備ヲ最大限度ニ動カシテ、能率ヲ發揮シテ、一應デモ多ク「アルミニウム」ヲ早く出シテ貰ヒタイト云フ軍ノ希望ガアリマシタノデ、其ノ問題ニ付テ主トシテ其ノ席上デハ懇談ヲスル、斯ウ云フ趣旨デアツタラウト私ハ想像致シマス、何故カト申シマス、假令日本輕金屬ヲ許シタト致シマシテモ、尙ホ既設ノ諸會社ノ相當ノ増産計畫ヲ抑ヘル理由ハ一ツモナイノデアリマス

○宇賀委員 十一月ノ二十一日ニ御許可ニナツテ居ルノニ、同ジク十一月ノ四日ニ斯ウ云フ會ヲ開イテ居ル、片一方ニ許可ヲスルコトヲ肚ノ中デ決メテ置イテ、ソレヲ知ラヌ顔ヲシテ、一言半句モ官民合同懇談會ニ言ハナカツタト云フコトハ、私等カラ言ハセレバ、何トナシニ其ノ計畫ヲヒタ隠シニ隱サユウナ態度ノヤウニ思ハレルノデアリマスガ、商工當局ハ、サウ云フコトハ朝飯前ノコトデ、何等疑フニ足リナイコトダト御考ニナルノデスカ

○東政府委員 私ノ見ル所デハ、當時日本輕金屬ノ計畫ガアツテ、資金調整ノ申請ヲシテ居ルコトハ、天下周知ノ事實デアリマシタノデ、之ヲ隠サウトシタツテ隠セル譯ノモノデハアリマセヌ、隨テ其ノ席上デ話サナカッタノハ、之ヲ隠シタノダト云フコトハ、私共ハ一ツモサウ云フ積リデハ居リマセヌ

○宇賀委員 輕金屬會社ハ歴大ナ計畫ヲ出シテ來タカラ、ソレヲ御許シニウツタト、先程言ハレマシタケレドモ——私ハ決シテ日本「アルミ」ノ代辯者デモ何デモナイト云フコトヲ此處デ斷言シテ置キマスガ——是ハ日本「アルミ」會社トスツカリ同ジデアル、私モ臺灣電力ニ居リマシタカラ知ツテ居リマスガ、日本「アルミ」會社ガ獨逸ノ技師ヲ引張ツテ來テ彼處デ工事ヲ始メタ、ソレハ昭和十年デアリマシタガ、二箇年半バカリ經ツテソレガ出來タ、其ノ當時「ピンタン」ノ「ボーキサイト」ヲ持ツテ來ルト云フ、今度ノ會社ノ「ボーキサイト」モ、ヤハリ同ジ物デス、是ハ確ニ二十年位前即チ大正七八年頃ノ景氣ノ好イ時ニ、中島久萬吉男ガ工業組合ノ何カラシテ居ツタ際ニ、二三十萬圓ノ金ヲ集メテ此ノ原料ヲ獲得シテ、ソレヲ持ツテ居ルト云フコトハ將來日本ノ爲ニナ

ルカラト云フノデ持ツテ居ツタ、ソレガ供給サレテ居ルヤウデス、是ハ古河サンガ關係シテ居ルデセウ、ソコデ此ノ同一ノ處カラ斯ウ云フヤウナコトヲシテ、同ジニオヤリニナルト云フコトヲナサレバ、日本「アルミ」ニ直接ドウ云フ影響ヲ及ボスカト云フコトヲ、御考ニナツタダラウト思ヒマスガ、如何デセウカ

○東政府委員 日本輕金屬ガ原料トシテ「ピンタン」ノ「ボーキサイト」ヲ使フ計畫デアルコトハ、是其ノ通りデアリマス、ソレカラ又技術ノ點ニ付キマシテ嘗テ日本「アルミ」ガ創立サレマシタ際ニ、關係ヲ致シマシタ所ノ獨逸人ノ某ガ、又日本輕金屬ノ依頼ニ應ジテ技術的ナ協力ヲスル計畫ガアルト云フコトモ、承知致シテ居リマス、併シナガラ原料ノ點ニ付テ申シマスレバ、現在「ピンタン」ノ「ボーキサイト」ニ付キマシテハ、日本ノ一部業者ト蘭印政府當局ノ間ニ、長期ノ探掘ノ契約ガ出來テ居リマス、其ノ埋藏量ハ相當豐富デアリマシテ、日本輕金屬及ビ日本「アルミ」ノミナラズ、更ニ其ノ他ノ日本「アルミ」業者ニモ供給シテ、尙ホ餘リアルモノガアリマスカラ、お互ニ何等影響スル所ハナイト思ツテ居リマス、又技術ノ點ニ付キマシテハ、既ニ日本「ア

ルミ」ノ技術ハ相當確立致シマシテ、其ノ獨逸人ノ技師ノ某ハ既ニ日本「アルミ」ヲ辭メテ獨逸ニ歸ツテ居ツタノデアリマスカラ、再ビ之ヲ他ノ業者ガ聘シテ技術的ナ相談ヲスルト云フコトハ、何等支障ハナイト考ヘテ居リマス

○宇賀委員 私ハ其ノ當時關係シマシタ一人トシマシテ、此ノ「アルミニウム」事業ノ日本デ一番安イ方法ト云フモノハ、日本「アルミ」會社ノヤツテ居ル「バイヤー」式ノ濕式法デス、而モ外國カラ「ボーキサイト」ヲ持ツテ來ルト云フノガ一番安イ方法デアル、他ノ日本電工デアルトカ、日滿「アルミ」ナド云フノハ、實ニ苦心慘澹シテ夜ノ目モ眠ラズニ努力シタ結果、今日此處マデ來タノデアリマス、ソレデ日本電工ナドハ今カラ一年カ二年位前ニ、日本ノ或ル博士ガ發明シマシタ所ノ方法ヲ、殆ド半分以上行ハズシテ、今日デハヤハリ石原産業ナドト提携シテ、南洋ノ方カラ「ボーキサイト」ヲ持ツテ來テ、中々高率ノ立派ナ成績ヲ擧ゲテ居リマス、一寸見ルト日本「アルミ」ナド云フ會社ハ、外國ノ技師ヲ頼ンデ來、而モ外國ノ「パテント」ヲ何百萬圓デ買ツテ來テ、外國ノ技師ニ非常ニ大キナ報酬金ヲ出シ、九九・六以上行ツタナラバ、幾ラノ金

ヲヤルト云フヤウナ獎勵金ヲ懸ケテ、工場ノ建設ニ掛ツタノデス、此ノ會社ガ出來ルマデニハ昭和八年ノ初メ頃カラ相談ヲシテ居マシタ、所ガ中々相談ガ纏ラナイ、金持ト云フモノハ私共ト餘程心理ガ違ヒマシテ、金ヲ大事ニスルコトハ驚イタモノデス、貧乏人程金ヲ粗末ニスル傾ガアルト云フコトヲ、私ハ何時モ痛感スル者デアリマスガ、金持ハ中々金ヲ出サウトシナイノデアリマス、サウシテ是デ大丈夫、確ニ間違ナシトマデ來ナケレバ、中々之ニ金ヲ出サナイノデアリマスガ、十年ノ三月ニ電力ノ問題ガ解決シマシテ、愈、工事ニ掛ルト云フコトニナツテ、十二年ノ六月ニ工事ニ掛リマシタ、工事ニ二箇年以上掛リマシタ、サウシテソレデハ直チニ一貫作業ガ出來ルカ、「ボーキサイト」ヲ持ツテ來テ、ソレカラ酸化「アルミニウム」即チ俗ニ言フ所ノ「アルミナ」ヲ作り、ソレカラ更ニ電氣分解ヲシテ金屬「アルミニウム」ヲ造ツタカト云フト、必ズシモサウデハナイノデアリマス、先ヅ佛蘭西カラ「アルミナ」ヲ買ツテ來テ、電力ヲ利用シテ極メテ高イ金屬「アルミニウム」ヲ作ツタ、サウシテ是ハドノ位造ツタカ、ソレハ私存ジマセヌケレドモ、縱ンバ存ジテ居テモ此處デ喋ベルコトモ出來マセヌ、

兎ニ角一貫作業ヲシテドウニカ順調ニ來タ
ノハ近イコトデ、珍シク十三年ノ初メ頃カ
十二年ノ末頃ニヤウノ順調ニナツテ來タ
ノダラウト思ヒマス、金サヘ出スナラバ最
モ順調ニ行ツテ、何デモ出來ルダラウト想
像シテ居ルガ、天下周知ノ方法ニ依ツテ、
獨逸人ノ技師ヲ使ツテ、ソレデ日本ノ三井、
三菱、住友、古河、其ノ他何某ト云フヤウ
ナ大キナ金融ノ「バック」ヲ備ヘテ、ソレデ
始メタ所ガ先ヅ何年掛ツタカ、昭和八年カ
ラ考ヘマスルト四五年掛ツテ居ル、斯ウ云
フヤウナ難シイモノデアリマス、ソレヲ何
等ノ經驗モナイ、何等ノ技術者モ居ナイヤ
ウナモノニ五萬噸製造スルコトヲ御許シニ
ナルト云フコトハ、私共ニハドウシテモ理
解出來ナイノデアリマス、東電ハ何デス、
東京電燈株式會社ハ電力ノ販賣會社デハナ
イカ、古河電工ハ何ダ、住友ト同ジニ是ハ
「アルミニウム」ナドハ今マデ一斤デモ造ツ
テ居リマセヌ、斯ウ云フ人ハ唯既製ノ「ア
ルミニウム」ヲ買ツテ來テ、ソレヲ電線ニ
造ツテ見タリ、板ニ造ツテ見タリ、壓延業
者ト言ヒマスカ、利用加工業者ト申シマス
カ、サウ云フ程度ノモノデス、之ニ造ルコ
トヲ御許シニナレバ、此ノ人達ハ一體何處
カラ技師ト熟練シタル所ノ職工ヲ引張ツテ

來ルノダラウカ、斯ウ云フコトハ頭腦ノ良
イ所ノ商工省當局ニハ、ビント來ナケレバ
ナラヌ筈ダ、ソレヲ何等ノ影響ナシナン
ト言フ、僕ハ先程カラ繰返シテ言フケレドモ、
別ニ代辯者デハナイ、併シ是ガ影響ナイナ
ンテ云フコトハナイ、必ズ「シビル・エンジ
ニヤ」ノ爭奪戰ガ起リ、其ノ次ニハ優良職
工ノ引拔戰ガ起ル、斯ウ云フコトヲ前提ト
シナケレバナラナイ、日本ニハ悲シイ哉、
私ガ今舉ゲタ會社ヨリ外ニハ「アルミニ
ウム」ヲ造ルコトヲ知ツテ居ル職工モ居
ナケレバ技術者モ居ナイノデスヨ、大學
ノ「ラボラトリ」デモ皆ナ隨分難儀ヲシ
テ努力ヲシテ居マス、私共モ之ニハ關係シ
テ居タカラ知ツテ居マスガ、各大學ヤ何カ
ノ話モ聞イテ居マスケレドモ、中々良イ方
法ガナイ、情ケナイコトニハ、日本ニハ「ボ
ーキサイト」ハ出ナイ、「マグネシウム」ノ
「マグネサイト」ハ何處ニモアルケレドモ、
「アルミニウム」ノ原料「デアル・ボーキサイ
ト」ハ、日本全國何處ヲ探ネテモナイ、唯日
本ニアアルノハ明礬石、或ハ礬土頁岩、ソレ
等ノ土塊カラ日本デハ造ツテ居ル、是デハ
中々良イモノガ出來マセヌ、之ニ成功シタ
ノハ日滿「アルミ」ダケデス、私ハ是ハ日滿
「アルミ」ノ非常ナル努力ノ結晶ダラウト思

ツテ居リマス、ダカラ、若シモ國策會社ト
カ何トカデ之ヲ大キクスルナラバ、私ニ言
ハセレバ、日滿「アルミ」ナンカガ最モ其ノ
線ニ乘ルベキモノデハナイカト思フ、ソレ
ニモ拘ラズ、何等ノ經驗モナイ、何等ノ技
術モ持ナイヤウナ會社ニ、五萬噸ナンテ云
フ大キナ生産ヲ許シテ、ソレガ果シテ十六
年三月マデニ完成シテ、工事が出來テ、仕
事が巧クヤツテ行ケルト御思ヒニナリマ
スカ、或ハ獨逸ノ技師ヲ雇ツテ來テ之ニ金
ヲ多ク掛ケ、之ニ有ユル資材ヲ與ヘテヤツ
タナラバ、或ハ外觀ダケハ出來ルカモ知レ
ヌケレドモ、中々ドウシテ其ノ中ニ於ケル
所ノ熔鑪爐「デアル」トカ、ソレカラ鐵ノ資材
ナント云フモノハ澤山要リマス、機械ナド
モ非常ニ精密ナル機械ヲ要スルノデアリマ
スカラ、是ハ元ハ二十箇月出來タ機械モ、
今ハ三十六箇月モ經タナケレバ出來マセヌ、
先程小金サンガ類ニサウ言ツテ居タ、資材
ガナイカラ出來ナイ、努力ガナイカラ出來
ナイ、斯ウ言フノデス、宜イデスカ、併シ
アナタハコンナコトヲ言ツテ居テ出來ルト
思ヒニナリマセウカ、其ノ點ヲ一ツ御伺致
シマス

○東政府委員 只今御話ノ通り「アルミニ
ウム」ノ技術ニ付テハ、是ハ初メハ何處ノ會社
デモアツタ譯デハナイノデアリマシテ、日
本「アルミ」ガ出來マシタ時モ、成程獨逸カ
ラ一二ノ技術者ヲ聘シテ來テ協力サセマシ
タケレドモ、大體ハヤハリ素人ガ之ニ參加
シタ、當時ハ御承知ノ通り三井「デアル」トカ、
或ハ古河邊リモ「アルミ」ノ經驗ハナイガ、
ヤハリ鑛山ノ關係者ノ技師ヤ職工ヲ連レテ
行ツテ、皆ガ協力シテ其ノ獨逸ノ技術者ノ
指導ト協力トニ依ツテ、アレダケノ技術ガ
出來タノデアリマスカラ、勿論初メカラ日
本「アルミ」ガ優秀ナ技術ヲ持ツテ居タノデ
ハナイト同ジク、新シク出來ル會社ハ、ヤ
ハリソレダケノ苦勞ハ無論シナクテハナラ
ヌト思フノデアリマスガ、ソレハ藉スニ時
ヲ以テスレバ、聽テハ出來ルモノト見ナ
ケレバナラヌノデ、是ガ出來ヌト云フコト
ノ方ガ、私共ニハ了解シ兼ねルノデアリマ
ス、ソレカラ日本「アルミ」ニ増産サセレバ
宜イデハナイカト云フ御話デアリマスガ、
私共ハ本當ハ日本「アルミ」邊リデ、ウン
増産シテ貰ヒタイノデス、増産シテ貰ヒタ
イノデアリマスケレドモ、日本「アルミ」ハ
ソナナ大キナ増産計畫ヲ持ツテ居リマセヌ、
ヤル意思ノ無いモノニヤラレルト云フコト
ヨリハ、ヤハリヤル意思ノアルモノニ其ノ
出來タ計畫ヲ實現サセル方ニ向ツテ行クヨ

リ外ニ、方法ハナイノデアリマス、尙ホ出來ルトカ出來ストカ云フコトハ、是ハ見込デアリマシテ、見方ニ依リマスレバ是ダケノ大キナ計畫ヲ短時日ノ間ニヤルコトニハ、相當無理ガアルト思ヒマス、或ハ必ズシモ豫定通りニハ行キマスマイ、工事ハ色々ナ事情ガ遅レルカモ知レマセヌ、今御話ノ通り資材モ、是ガ最初計畫シタ當時ト今日トデハ、其ノ不足ノ狀況モ餘程違ツテ來テ居リマスカラ、最初計畫シタ當時豫想シタ通りニハ、資材ノ供給ガ出來ヌカモ知レマセカラ、サウ云フ色々ナ事情カラ計畫ガ多少遅レルト云フコトハアルカモ知レマセヌケレドモ、ソレハ出來ルダケヤラセル、斯ウ云フコトヨリ外ニ方法ハナイノデアリマス

○字賀委員 只今日本「アルミ」ダツテ大シタ技術ヲ持ツテ居ナクテヤツタノデハナイカ、ダカラ日本輕金屬モヤレル、斯ウ言ハレマスガ、成程ヤレマス、併シソコニ「タイム」ノ制限ガアル、時ト云フモノヲ構ハズニヤレバ、ソレハ何デモ出來ルノデアリマス、併シナガラ是ガ昭和十六年ノ三月マデニ兎ニ角竣功シテ、直グニ仕事ガヤレマスカ、アナタモ物動計畫ノ如何ナルモノデアルカト云フコトハ、御承知デアラウト思ヒマス、

物動計畫ノ上カラ見テ、用モナイヤウナ時ニ作ツテモ、ソナモノハ何ノ役ニモ立タナイ、急場ノ間ニ合ハナイモノハ何ノ役ニモ立タナイ、私ハソコヲ指シテ言フノデアリマス、之ニ付テハ色々言ヒタイコトモアルノデアリマスガ、ドウモ日本「アルミ」ノコトバカリ申シテハ甚ダ相濟マヌカラ、成ベク簡單ニ致シタイト思ヒマスガ、ソレハヤレバヤレルダラウ、ケレドモ商工省デ熟練職工ヤ技術者ヲ拔カセテマデヤルト云フノハ、ドウ云フモノデアルカ、片方デハ増産計畫ヲ持ツテ居ルノデス、事實ニ於テ増産計畫ヲ持ツテ居ルケレドモ、片方ニ於テ五萬噸ト云フ大キナ生産デ、資金モ一億五千萬圓モ要ルヤウナ大キナ計畫ヲ御許シナルト、他ノ小サナモノハ中々思フ通りニ出來ナクナリマス、斯ウ云フヤウニ商工省デ御許シニナツタ爲ニ、オ互ニ迷惑ラシテ居ル、是ハ近衛内閣ノ言葉デ言フナラバ相剋摩擦デアリマス、皆デ資材ノ奪合ヒニナリ、技術者ノ奪合ヒニナリ、職工ノ奪合ヒニナル、サウシテ其ノ次ニハ何ヲスルカト言ヘバ賃銀ノ値上ヲスル、ソレカラ資材ノ奪合ヒニナルナラバ、或ハ機械ノ註文ノ奪合ヒニナルナラバ、是ガ却テ日本國トシテ希望スル所ノ増産ノ實現ヲ遅

ラスヤウナ結果ニナリハシナイカト云フコトヲ、私ハ憂フルノデアリマスガ、サウ云フコトハナイト御考ニナリマスカ

○東政府委員 只今御話ニナリマシタヤウニ、若シ他ニ經驗モアリ、技術モアリ、サウシテ大シタ資材モ要サナクテ増産ノ出來ルモノガアルニ拘ラズ、ソレヲ抑ヘテ日本輕金屬ヲ許シタノデアリマスナラバ、御話ノヤウニ其ノ結果「アルミニウム」ノ増産ガ遅レルト云フコトニモナリマセウケレドモ、サウ云フ事實ハ一ツモゴザイマセヌ、日本輕金屬ヲ許シマシタノハ、之ヲ許サナケレバ今後ノ日本「アルミニウム」ノ需給ハ「バランス」ガ取レテ行カナイカラデ、是ハドウシテモ實現サセナケレバナラス、斯ウ私共ハ思ツテ居リマス、隨ヒマシテ既設ノ會社タルト新設ノ會社タルト問ハズ、計畫ガ相當進ンデ居リマシテ、日本輕金屬ヨリモ先ニ設備ガ完成シテ、先ニ製品ガ出ルト云フ見込ノアルモノデアリマスレバ、其ノ方ニ先ニ資材ハ供給致シマス、私共ハ「アルミニウム」ノ増産ノ爲ニハ出來ルダケ資材ヲ供給スルコトニ盡力シテ、此ノ増産計畫ヲ全體トシテ進メテ行キタイト思ツテ居リマスケレドモ、先程來話ガ出マシタヤウニ、資材ハ非常ニ窮屈デアリマスカラ、ド

ウシテモ全體ニ對シテ配給ガ出來ヌト云フ場合ニハ、緩急順序ヲ考ヘマシテ、決シテ無駄ノナイヤウニ配給ヲシテ行ク積リデ居リマス、ソレカラ技術者及ビ職工等ニ付キマシテモ、是ニ漸次統制ヲシテ行クコードニナツテ居リマシテ、決シテ無理ナ引拔トカ爭奪戰ハナイヤウニヤツテ行ク積リデ居リマス

○字賀委員 ソレハモウ現ニ其ノ徴候ガアルノデアリマス、日本「アルミ」ハ先程モ申上ゲマシタ通り、日本ノ内デモ不幸ナ寄合世帯デアリマシテ、洵ニ企業トシテ此ノ位脆弱ナ寄合世帯ハナイノデアリマス、仕事ヲスルノニハ「マネー」モ要ルシ、人間モ要ルシ、「マテリアル」モ要ル、三「エム」ガナケレバ仕事ガ出來ナイト言ハレテ居ルノデアリマスガ、日本輕金屬ハドウデアルカ、金ハ今言フ通り天下ノ大モノガ五人モ六人モ集ツテ居ルノデアリマスカラ、是ハ出來マス、併シ人間ハサウ中々一朝一夕ニ出來ルモノデアアリマセヌ、殊ニ昨今ノヤウニナツテ來レバ「マテリアル」ト云フモノモ中々得ラレニクイモノデアリマス、サウシテ其ノ他ニ先程私ガ御話シタ通り、東洋「アルミニウム」會社ト云フ三井ヲ背景ニシタ生産額一萬二千噸カノ會社モ、一ツ御許シ

ニナツテ居ル、是モ何處カラ原料ヲ持ツテ
來ルカ、何處カラ技術者ヲ連レテ來ルカト
云フコトニナルト、大體日本「アルミ」ノ技
術者ナドハ、此ノ三軒カラ來テ居ル、恐ラ
クハ片方デ——例ヘバ古河サンデ何カヤル、
三井サンデ何カヤルト云フコトニナレバ自
分ノ所デ貸シテ置イタ人間ヲ引上ゲルヨリ
外方法ガナイノデアリマス、今日既ニ此ノ
方法ニソロ／＼來掛ツテ居ルノデス、是ハ
中々エライ大キナ問題デアルト私ハ思
ヒマス、マア、サウ他所ノ會社ノ内幕ヲ彼
此レ言ツテモ仕様ガナイカラ是位ニシテ、
改メテ御聽キシマスガ、私ハコンナ大キナ
計畫ヲ御許シニナルヨリモ既存ノ會社ニ三
千廬ナリ五千廬ナリツツ、ソレ相應ニ少シ
注意シテ擴張サセレバ、是ガ一番樂ナ方法
デアリマス、ソシナニ金ヲ掛ケナクテモ、
出來得ルモノデアリマス、ソレハマア後ニ
ナツテ、ソレハ出來ルノダ、今デモ申請シ
テ來レバ許スノダト云フコトデアリマスガ、
斯ウ云フ大キナモノガ一ツドカント許サレ
テ、新聞紙上ニハ是ハ何レ統制會社ニナル
ノダ、是ガ日本「アルミニウム」工業ノ母體
ニナルノダト云フヤウナコトヲ何カ言ヒ觸
ラシテ、株式ナドヲ募集シテ居ルヤウデア
リマス、ソレ程ノ強イ言葉デハナイケレド

モ、今朝ノ新聞ヲ御覽ナサイ、何處カノ株
屋サンガ此ノ株ノ募集ヲ致シテ居リマス
ガ、其ノ終リノ方カニ近ク商工省カラ「アル
ミ」ノ統制法案トカ云フモノガ議會ニ提案
サレテ、スツ通ルヤウナコトヲ書イテ居
ルヤウニモ思ハレルノデアリマスガ、一體
ソレデハ商工省ノ當局者ハ「アルミ」ノ統制
法案ヲ、此ノ議會ニ提案サレルヤウナ御考
ヲ持ツテ居ルノデセウカ、ドウカ、ソレヲ
念ノ爲ニ伺ツテ置キマス

○東政府委員 「アルミニウム」ノ増産ヲ急
速ニ實現致シマシテ、サウシテ其ノ品質ノ
向上、技術ノ改善ト云フコトヲ圖ツテ行キ
マス爲ニハ、一面ニ於キマシテ「アルミニ
ウム」ノ製造事業ニ或ル統制ヲ加ヘルト同
時ニ、他面之ヲ色々ナ方面カラ保護助長シ
テ行カナケレバナラスト考ヘテ居リマスノ
デ、今議會ニ輕金屬ニ關スル法律案ヲ提出
シタイト思ヒマシテ、目下準備ヲ急イデ居
ル譯デアリマス

○宇賀委員 サウシマス私ガ此處デ、去
年ノ二三月頃カラ昨今マデノ御話ヲ搔摘シ
デ色々商工當局ト御話シタコトハ、大體事
實ノヤウデアルト思フノデアリマスガ、是
ハ意見ノ相違デ各人ノ判斷ニ依ツテ違フト
言ハレマスケレドモ、ソレデハ其ノ統制事

業法案ノ出ル時マデ待チマセウカ、出ルカ
モ知レヌト云フノヲ先廻リシテ、今此處デ彼
此レ議論シテ皆様方ニ退屈サレテハ洵ニ相
濟マスト思ヒマスガ、日本デハ資金ガソシ
ナニ澤山ナイ、ソレハ日本銀行ノ倉ノ「ゴ
ールド」ニ關係ナシニ輪轉機ヲ廻セバ、百
圓札ガ二錢カ三錢デボン／＼出マセウケレ
ドモ、ソシナ「ペーパー・マネー」ハ日本國內
ノ法權ノ行ハレル範圍ダケデアツテ、一步
外ヘ出レバ金ガ必要デアル、之ヲ急速ニヤ
ラウト思ツタラ外國カラ資材モ買ハナケレ
バナリマセヌ、原料ハ外國カラ持ツテ來ナ
ケレバナラス、唯此處デ私ハ一番悲シムノ
ハ、五ニ一體幾ラノ數量ガアツタラ陸海軍
ノ需要ヲ充シ、其ノ上民間ノ需要ヲ充シ得
ルダラウカト云フ、所謂政府ノ取ツテ置キ
ノ物動計畫ノ範圍内容ト云フモノニ觸レル
コトガ出來ナイカラ、何トナシニ議論ガシ
ツクリ來ナイノデスガ、是ハ全部御許シニ
ナツテ皆其ノ通りニ拵ヘタラ——イヤ來レ
バ皆御許シニナル云フトノデスガ、其ノ通
リ全部許シテ皆作ツタラ大變ナ物ニナリマ
セウ、サウ云フ子供騙シノヤウナコトハ、
ドウゾ私共ノ前デハ言ハナイデ戴キタイト
思ヒマス、議論ニナルヤウデ洵ニ相濟マス
カラ、是位デヤメテ置キマスガ、私ハ如何

ニモ無ケナシノ資金デスカラ、モウ少シ上
手ニ使ヘバ、モット有效ニ働クノニ拘ラ
ズ、何等經驗ナシニ、何等ノ基礎モナイモノ
ニ六万モ七万モノ許可ヲ與ヘテ、其ノ中デ
ソツチノ方ニドンチヤン／＼工事ヲやらセ
テ、サウシテ國內ノ機械ナリ、或ハ外國ノ
機械マデ輸入シナケレバナラスト云フヤウ
ナコトヲシテ置イテ、一方ニハ小サナ業者
ニ對シテハ、オ前等ハ前ニ聞イタラ増産ス
ル意思ガナイト云フヤウナコトヲ言ツ
テ居タカラ、今ニナツテハモウソシナ
モノヲ持ツテ來テモ駄目ダト言フ、五
年ナリ七年ナリ苦心ノ結果、今日ノ業績ヲ
築イタ者ノ方ハ、増産ヲスル意思ハナ
イデセウ、今仰シヤツタ通り誰ニデモ
許スノダト云フノデスカラ、増産スル意
思ハナイデセウ、併シ事實ニ於テサウフン
ダンニ金モナイシ物モナイ、片方ハドシ
／＼ヤラセレバ片方ノ小サイ方ハ押付ケテ
シマハナケレバ納マリガ付カヌ、サウ云フ
ヤウナコトガ果シテ賢明ナル「アルミニウ
ム」ノ増産計畫ヲ圖ル商工當局ノ方針カ、
又資金調整法ト云フ建前カラ見テ、ソシナ
ダブツタヤウナコトヲスルノハ、幾人カノ
人ヲ資金調整法ノ委員ニ集メテ、斯ウ云フ
モノニ御認可ニナツタノデセウガ、私ハド

ウモ其ノ當時ハ恐ラク資金調整法ノ委員ノ御方モ、餘リ詳シイコトヲ知ラズニ認可ヲ與ヘタノデハナイカト思フノデス、別ニ是ハ當局ノ御説明ヲ要求スル譯デハアリマセヌガ、又皆様ニモ甚ダ御迷惑ヲ掛ケマスカラ、私ハ是デ一先ヅ止メテ置キマスガ、何レ近イ中ニ統制法トカ何トカ云フモノガ出テ來ルサウデスカラ、出テ來タ場合ニ、十分御伺致シタイト思ヒマス

○東政府委員 答辯ハ要ラヌト云フ御話デゴザイマシタケレドモ、一言私申上ゲテ置キマス、新聞ニ出マシタ記事ノ中ニハ本當ノコトモアリマスシ、間違ツテ居ルコトモ澤山ゴザイマスカラ、ソレハ其ノ御積リデ御諒承ヲ願ヒマス、尙ホ既設ノ會社デアツテモ、今後増産計畫ガアレバ許スノダ、許ス意思ガアルト云フノヲ、此ノ場限リノ好イ加減ナコトヲ言ツテ居ルヤウニ今御話デアリマシタケレドモ、決シテソシナコトハアリマセヌ、日本ノ「アルミニウム」ノ今後ノ需給狀況カラ申シマスレバ、私モ數字ヲ上ゲテ説明スルコトノ出來ナイノヲ甚ダ遺憾ニ存ジマスガ、決シテ嘘デハゴザイマセヌ、今大體私共ノ方ニ出テ居リマス増産ノ計畫モ、先ヅ適當ナモノト認メテ、十分今後増産ヲシテ貰ハナケレバナラスト思ツ

テ居リマス、其ノ點ハ決シテ間違ヒゴザイマセヌカラ、御安心ヲ願ヒマス

○宇賀委員 私ハ答辯ヲ要求ハシナカッタノデスガ、當局カラ答辯ヲセラレテ、缺席判決ヲ受ケタノデハ私困リマスカラ、此ノ際一言ダケ質問ヲサセテ戴キタイ、既設會社ガ増産計畫十一万何千吨ト云フモノヲ持ツテ居ル、之ニ五万吨寄セレバ十六万何千吨ニナル、ソコニ日本「アルミニウム」ノ一万何千吨ヲ寄セタラ十八万幾ラデゼウ、今アナタノ仰シヤツタコトハ、吾々ガ物動計畫ヲ知ラナイト思ツテ居ルカモ知レマセヌガ、此處ニチャント書イテアル、サウ云フコトハオ互ニ慎ミマセウ

○板谷委員長 本日ハ是ニテ散會シマス、明日ハ午前十時ヨリ開會シマスルガ、此ノ際諸君ニ申上ゲテ置キマス、商工大臣ハ明日午前ニ御出席ニナルサウデアリマスカラ、同大臣ニ質問ノ保留シテ居ル方ハ、定刻ニ御參集アランコトヲ希望致シマス

午後四時四十八分散會